会長のページ　警察活動と医師会 …… 河野　雅行　3
日州医談　子宮頸がん予防事業について思うこと …… 嶋本　富博　4
はまゆう随筆（その２） …… 6
北村　應旺，北村　恵子，桑原　淑子，木下　義美，大塚　伸昭
大西　雄二，古賀　繁喜，野田　　隆，獅子目賢一郎，末岡　常昌
寄稿　あはき療養費も受領委任（代理請求）可能に？
同意書作成の知識と理解の重要性 …… 尾田　朋樹　14
宮崎グルメ探訪 №１　福鮨 …… 稲倉　琢也　16
エコー・リレー（504） …… 成田　理恵，川野　貴久　17
メディアの目　“ネットの海”に溺れぬように …… 中山　憲康　25
宮崎大学医学部だより（総合周産期母子医療センター） …… 紀　愛美　26
ニューメンバー …… 長嶺　和弘　47
診療メモ　学校医が行う運動器検診 …… 髙村　一志　76

表彰・祝賀 …… 18
あなたできますか？（平成28年度医師国家試験問題より） …… 19
宮崎県感染症発生動向 …… 20
各郡市医師会だより …… 22
宮崎県医師会医学会役員会 …… 27
第166回宮崎県医師会定例代議員会（概要） …… 28
平成29年度第74回宮崎県医師会総会 …… 31
九州医師会連合会第364回常任委員会 …… 34
九州医連連絡会第25回常任執行委員会 …… 35
日医インターネットニュースから …… 36
理事会日誌 …… 38
県医の動き …… 46
会員の異動・変更報告 …… 48
ベストセラー …… 50
ドクターバンク情報 …… 51
行事予定 …… 57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 …… 61
宮大医学部学生のページ …… 78
あとがき …… 82

お知らせ　宮崎県医師会医療情報コーナー …… 15
第18回宮崎県医師会医家芸術展 …… 24
医療事故調査制度　相談窓口 …… 27
クールビズについて …… 33
宮崎県医師会メーリングリストのご案内 …… 47
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています …… 55
平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い …… 59
第１回生命を見つめるフォト＆エッセー作品募集 …… 59
宮崎県医療勤務環境改善セミナー …… 60
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ …… 79
郡市医師会への送付文書 …… 80
ご案内　宮崎県医師会親善ゴルフ大会 …… 50

医師の心得

1．私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。

2．私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。

3．私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。

4．私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。

5．私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人　宮崎県医師会

（平成14年３月12日制定）

〔表紙作品：切り絵〕

Jazz Messengers

切り絵の題材を考えていた時，当医師会の半医半漁をしている橋口兼英先生からジャズがいいかもしれないとのことで，早速ジャズプレーヤーを切ってみたところなんとか様になる感じになったので，部屋の壁中に貼りつけその中で選んでまとめたのがこの切り絵です。

私に配色の才能がないので色決めは女房に協力してもらいました。

都城市　政所（まどころ）治道（はるみち）・恵子（けいこ）

会長のページ

警察活動と医師会

河野雅行（かわの まさゆき）

最近は自然災害に伴う死亡例が多発しています。特に東日本大震災のような大規模災害時には多数の身元不明のご遺体があり，検視例も増加するものと予測されます。事件性のある場合には医学的見地からの検視・検案が必要とされ，従来は警察医の名称で，限られた先生方が警察活動を医療の面から支えられていました。しかし，業務が過酷になるにつれ警察医のなり手が少なくなり，この分野にも医師不足の波が押し寄せてきた感があります。その原因としては様々言われていますが，法医学教室への入局者減少も影響しているものと思われます。医師の業務は多岐に渡ります。医師によっては，「生きている人しか相手にしない」と豪語する人もいます。しかし，医学部教育にもありますように，医療は生前から死後まで人の生涯に渡って関与しなければなりません。公衆衛生・予防医学等まで含めると，現在健康な人まで対象となります。

検視，死体の身元鑑定等社会的にも重要な面を疎かにできないことから，政府の死因究明等推進計画を受けて，日医では「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」を平成26年度に設立しました。日本警察医会は同年３月に発展的解散することになりました。各都道府県医師会に部会を設けるように提唱して，24医師会で設置済，16医師会で設置予定です（平成27年）。部会の名称は未だ仮称のままであり，日医は近いうちに正式名称を決定するようです。宮崎県では平成11年に設立された「警察協力会」を母体として部会を立ち上げました。部会内には県警察医会，整形外科医会，産婦人科医会，精神科医会を設置しています。部会の活動としては「死体検案研修会」，「死亡診断書（死体検案書）作成の説明会」等を開催しています。

更に，次に起こりうる大規模災害に備えての「死因究明等推進協議会」の設置については本県を含む23府県が未設置です（平成29年３月現在）。協議会未設置の理由として「関する法律が失効している」，「今後設置を検討したい」と述べられています。その他の課題として「読影のできる力量のある医師や検案医のなり手が不足している」，「撮影・読影の費用負担が不明確」，「警察からの依頼が特定の医師に集中している」等が挙げられています。

従来の警察医の活動としては，「警察の検視への立ち合い」，「留置人の健康管理」，「警察職員の産業医的業務」等があり，新設部会の活動もこれに準じます。最近の特徴として検視・検案対象のうち，薬・毒物検査が増えているそうです。少し異なりますが，「認知症に関する診断対応機関」としては県内37医療機関が別途県警察から指定されています。

災害地のJMAT派遣医師は死亡診断書・死体検案書を作成する機会も多いと推定されます。しかし，JMAT派遣医に検視まで定常活動として請け負わせるのは，少し過酷かもしれません。検案医を同行させる案については今後，検討するとしています。

会員諸氏におかれても大変お忙しい中ではありますが，「警察と医療」の重要性を鑑みられて「警察活動に協力する医師の部会（仮称）」へのご参加をお願いいたします。

（平成29年７月20日）

日州医談

子宮頸がん予防事業について思うこと

理事　嶋本富博（しまもととみひろ）

子宮頸がんは，HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染によって発症することは周知のところである。すなわちHPVが性行為によって感染し，成人女性は生涯において60％前後は感染すると言われている。そのうち約90％以上は自然治癒して残りの感染が持続感染しヒト遺伝子の中に入り込む。遺伝子の中でHPV由来のE6, E7タンパクが産生され，これがRb, P16といったがん抑制遺伝子に働きかけ不活化することにより，発がんの第一歩となる。

さらに，発がんまでの形態的変化は捉えられており，異形成（軽度，中等度，高度）と診断される。異形成は細胞診レベルでも診断可能であり，なおかつ異形成から発がんまでに要する期間は約10年かかる。

以上のように，自然史が解明され早期診断法である細胞診も行われているのにも拘らず，日本人においては，特に30代の若年層では発症率は増加し，未だにこの病気で子宮を，命を失う女性が多い。

さらに，早期診断法に加えHPVワクチンが開発臨床応用されるに至った。HPVは発がん性の高いもの低いものなど種々の型があり，発がんリスクが高く感染者も多い16，18型を標的としたものが開発された。本ワクチンは他の型への有効性は高くとも50％程度であるが，16, 18型に関しては感染を20年以上の期間に渡って抑制できることが証明された。アメリカ，オーストラリアを始めとした諸外国では10代の若年女子，いわゆるsexual debut前に接種して感染を予防する事業が始まった。すでにワクチン接種群では著しい感染予防効果をあげ，前がん病変である異形成の発症はワクチン接種年代のみが突出して減少していることも報告されている。近年ではHPVに関連する口腔咽頭がんの発症を予防するためにアメリカでは2007年に始まった女性への接種から５年遅れ，2012年より男性への接種プログラムも開始された。

以上の流れの中で，日本においても公費負担でのワクチン接種プログラムが開始された。当初は関心も高く接種率も80％を超えていた。子宮頸がんは感染から発がんまでが多くの場合10～20年とされているため，2030年頃までには子宮頸がんに対しての侵襲の高い広汎子宮全摘術，または放射線治療を行うことが歴史的出来事になることが期待された。

しかし，日本で，接種に伴う有害事象が大きく取り上げられ，４年前より因果関係が否定できない特異的な副反応が見られるとのことで積極的な接種勧奨を差し控えることとなった。以後，現在まで接種率が５％という低率になっている。もちろん接種に伴う痛みに起因する思春期の女性に特有の病態であるという説から，免疫反応という説までありまだ結論は出ず，種々の治療が試行されているが根本的な治療法もない現状で，訴訟も起こり結審もされていない現状では勧奨再開までには長い道のりがあると思う。

今現在病気であり放置していれば重篤化し生命の危険をもたらす疾病治療とは異なり，接種

者全員が現在健康で全員が罹患する訳ではない。集団としての罹患率死亡率の低下を期待するワクチンは，日本においては有害事象の発生には非常に敏感であることはこれまでのワクチン行政でも見られており，国民感情としてもそれを許容できない文化があると思われる。

2014年にWHOは，HPVワクチン接種の国のプログラムへの導入を強く推奨する以下の声明を出した。「ワクチンが原因とされる健康被害の主張的根拠は弱く，安全で有効なワクチンの使用中止という現実的な危害をもたらす恐れがある。アルミニウム含有ワクチンによる健康被害，注射部位に存在するアルミニウムと自己免疫症候群との関連，HPVのDNA断端と炎症や脳血管炎や免疫系現象との関連のいずれについても，科学的エビデンスはこれまでに示されていない」。

これは非常に論理的ではあるが，接種ということを契機とした重篤な事象を前にしての捉え方ひいては文化の違いとも思われる。人一人の命は地球より重いという言葉があったが，それは今でも日本人の心情であると思う。被害者が出れば例え社会全体にとっては有益であってもそれを正義とは言い切れない部分があるのではないかとも思う。

おそらく有害事象発生者への有効な治療を示さないことには，または接種の差し控えによる明白な接種国との違いが出るまでは接種行政が進まないと思われる。

もちろん有害事象発生者の一刻も早い救済，回復を祈るばかりである。

では，子宮頸がん予防事業死亡対策に策はないのかというと，宮崎県でも一部の市町村が導入したHPVテストを推奨したい。

これまでは早期発見の方法としては，子宮頸部を擦過し細胞を観察する方法が行われてきた。イギリスを始めとしてその有効性は証明されているものである。ただし受診率が60～70%を超えることが必要で我が国の30%前後と言われている受診率をあげる試みが待たれる。参考までに子宮頸がん検診先進国の英国では検診率の向上には未受診者へのcall-recallが有効とされている。

また，細胞診は方法論としてはHPV感染後に起こる細胞の形態異常を捉えるわけであるが，炎症，加齢による細胞の変化との鑑別の困難さ，器具の改善により減少してきているものの不適切標本の問題がある。

一方HPVテストは原因であるウイルスの検出を行うものであり，上記の炎症，加齢という要因に影響を受けない上，客観性にも優れている。単独では細胞変化が起こる前の状況でも陽性となり感度は下がるが，偽陰性は理論的にはほとんど存在しない。細胞診と組み合わせ，細胞診陽性，HPV陽性であれば感度は従来法より高く，共に陰性であれば特異度も高くなる。さらに現在HPV陽性であるという結果は今後の検診の動機付けにも期待される。

まだまだ日本では客観的な大規模データがないとのことで一般化はしていないが，上記のように従来の細胞診単独より優れた結果を示されており，さらにはHPV単独検診へと舵をきる動きまで諸外国ではある。検診だけでもガラパコス化したくないものである。

まとめ

子宮頸がんの死亡率低減，妊孕性温存のための施策としては，子宮頸がん検診，ワクチンが現在一般化している。

検診においてはその受診率が低率であることが問題で，受診率向上のcall-recall等の対策が待たれる。

ワクチンは子宮頸がんのみならずその他のがんの予防効果が期待されているが，有害事象のため当面は劇的に接種率の上昇は期待できない。

今後は検診においてHPV検査の有用性が確認されどの市町村にも普及することが求められる。

はまゆう随筆（その２）

（７，８，９月号に分けて掲載いたします）

“運玉”vs“在らぬダイヤ”

日南市　北村胃腸科眼科（有床診療所）　北村應旺（きたむらまさお）

ダイナマイトボディにエキゾチックな顔立ち，少年の頃のイクさんについての記憶だ。イクさんは私の実家のはす向かいに住んでいた。外見に似合わず温和で奥ゆかしい人であった。そのイクさんが，外来に通ってみえるようになった。久しぶりに見るイクさんは，さすがにオッパイは萎んだものの可愛い顔のおばあさんになっていた。息子さんに先立たれて淋しいだろうと話を向けてみたが，首をかしげるばかり。付き添った娘さんに尋ねると，興味深いことに，息子さんに関する記憶だけが消失しているようだ。悲しみがあまりに大きいとそんなことが起こるのか，と驚愕したものだ。

そのイクさんが体調を壊して入院し，何か月か経ったある日の回診のこと，珍しく自分の方から声を掛けてきた。「あのう，つかぬ事を伺いますが，あなたはキヌさんとこの，まさおちゃんじゃありませんか？」キヌさんとは母のことである。私も話を合わせる。「あらー，イクさんじゃないですか」「長いことお会いしませんでしたなー」「いやぁ，思い出して頂いてうれしいです」しばしの会話の後，「ところで，あなたは今，どこにお住まいですと？」私は少し考えて「実は，縁あってイクさんと同じ屋根の下に住んどりますが」もちろん嘘でもなんでもなく，病室の真上は私の住居なのだ。すると，警戒するような目つきになり「**んだまぁー**」すかさず私も「**あらんだいやー**，イクさんみよ」「んだまぁー」「あらんだいやー」…回診のたびに同じ会話を繰り返しつつ，イクさんが逝った。94歳。娘さんに看取られての大往生であった。

「**(う)んだまぁー**」は，あきれた時に使う「んだ」と驚いた時に使う「まぁー」という感動詞をくっつけたもので，「**あらんだいや**」は「あらいやだ」から転じたのではないかと推測する。どちらも由緒ある方言ではないかも知れないが，今は亡き母も含めて地元では年配の女性がよく使っていた。「運玉」は鵜戸神宮が有名だが，ダイヤのほうも当地だけにしか「在らぬダイヤ」かもしれない。愉快な会話を思い出すたび，かつて古き良き時代を生きた人達の面影が鮮やかに蘇る。

（祝！６月17日付の新聞によれば，鵜戸神宮は本年，国の名勝に指定される見通しである）。

カット

バラの庭よ永遠に～パート１

日南市　北村胃腸科眼科　北村恵子（きたむらけいこ）

春バラが，例年に比べて遅く開花して，長く咲き続いた。３階の屋上ベランダに庭ができて10数年，地植えに比べ，土が浅く日照りが強いせいか，だんだんバラの木が衰え，パーゴラの角に最初から植えていた黄色い大輪のランドラが昨年枯れてしまった。著名人の名が付いているクロードモネ，レオナルドダビンチ，モナリザ，シーザーなど如何にも名前は強そうでも，ハイブリッドティーは，気高い美しさの反面，生育条件が難しい。ナポレオンの皇妃ジョゼフィーヌ・ド・ボアルネは，自らマルメゾン宮殿に250種ものバラを収集し，人工交配で数多くの新品種を創り出した。植物画家ルドウテは，それをバラ図譜に残している。彼女が作出に尽力したハイブリッド第１号のラ・フランスも，我が庭に毎年芳しい香りを漂わせてくれたが，枯れてしまった。イギリスの大園芸家グラハム・トーマスは，絶えたオールドローズを各地から収集し，自然保護団体ナショナルトラストの庭園に蘇らせた。氏曰く，オールドローズは樹としても美しいし，他の植物とも共存できる本来のバラの姿である，とハイブリッドティーの全盛期に断言した。子どもの頃，ミセスジョンレインというオールドローズの香りが忘れられなかったという。久留米のM先生は，バラの庭園でBz大賞を獲られ，懸賞でイギリス庭園の旅行に行かれた時，オールドローズに魅了されたそうだ。わが家の庭にも他の樹は育ちにくい場所でオールドローズのマダムアルフレッドキャリエール，ソフィードバビエールらは，毎年美しい花を咲かせる。イングリッシュローズも丈夫で美しい。グラハムトーマスを名に持つ黄色いティー香のバラは，イングリッシュローズを生み出したデビットオースチンが，黄色いバラを好まないグラハムトーマスに贈った自慢の作品だ。氏のモティスフォント庭園には，黄色いバラは，この花だけしかないそうだ。

私の趣味

小林市　桑原皮膚科医院　桑原淑子（くわはらよしこ）

今年私も77才，喜寿を迎えました。

時の流れは全く速いもので，昭和48年５月に桑原皮膚科医院として開業して44年目を迎えました。毎日の多忙な診療に追われながらも開業10年目を迎える頃になってある程度仕事に余裕が出来てきた頃，ふとやがて訪れてくる老人層を迎えて患者さんの診療からある程度解放された時，自分にとって豊かな気持ちと充実した日々を過ごすためには，何か趣味を持つことだと思うようになりました。

幼い頃は子どもの習い事として小学６年生ごろまでピアノのレッスンをうけ楽しんでいましたが，その後いつの間にかピアノから遠のいていきました。

しかし，年とともに頭の思考力の衰えを感じて手指を動かす所謂リハビリをかねて，ピアノを再度始めてみることも一つの案と思い，65才からピアノの先生に月２回のレッスンを受ける

ことになりました。何とか１曲，１曲が弾けるようになった時の喜びに対し改めて再度ピアノに挑戦して良かったと思っています。

さて，もう１つの趣味は，写真撮影です。普段何気なく見てきたものもレンズを通して観ることにより肉眼では，見えなかった素晴らしい自然界をシャッターを押すことにより自分の心の拠り所として撮影し豊かな作品になるよう心掛けています。また，私にとって大事なことですが，私の写真に対しての思いが長続きしている理由は丁度12年前の平成17年５月号№75の「宮崎県皮膚科だより」の表紙に私の写真を使いたいと編集委員の青木先生より申し出があり，宮日新聞主催の美術展の写真部門で入選した「ワンちゃん」を私の最初の表紙作品として掲載してもらいました。それから現在に至るまで毎年２回発行される「皮膚科だより」に12年間99回までいろいろな25枚の表紙写真を作製することの責任感と表紙写真に期待していただく喜びをもって，その都度大変勉強になりながら自分の写真集にもなり大変感謝しています。皮膚科だより編集の先生方に心から感謝してお礼を申し上げます。そして感性豊かな写真をいつまでも楽しく撮り続けたいと思っています。

カット

お金持ちになるには

延岡市　谷村病院　木下義美（きのした よしみ）

作曲家，画家，小説家などは独特な才能が必要である。事業家も同様である。作曲家等の才能は感性という何やら訳の分からないものであるが，事業家としての才能は比較的明快である。

まず第１はその資質であるが，大胆にして細心という相反する二重の性格を合わせ持つこと。大胆なだけでは単なるギャンブラーにすぎず，成功はおぼつかないし，細心なだけでは事業を起こすことはできない。

第２は情報収集能力である。新聞，雑誌，テレビ，人の話その他あらゆるものにアンテナを張り，その中からこれはと思うものを選び出し，直ちに実行に移す。人より一歩あるいは半歩でも先んじることが重要である。またすべてを成功させようとは思わないこと。事業に失敗は当たり前。要は成功と失敗を見究め，進むべき時と，撤退すべき時とを見誤らないことである。

さらにお金は使うべきもの，使ってこそお金は生き生きとし，増えるものだと心底思い，思いきってお金を使うこと。爪に火を灯すようにケチケチと貯め込むような人は，一生お金と縁がない。

次に大事なことは，人を使う能力である。力をもって人を従わせるのは最悪で，人を愛し大事にし，充分な報酬を払い，時にはほめたりいたわったりしながら，人が自分の為に一生懸命働くようにすること。つまりコミュニケーションの能力にたけていることである。

最後に「苦は欲より生ず，少し欲を少なくすると楽になる」という仏の教えに背いて限りなく欲をふくらませること。決して現状に満足しないことである。

以上述べてきたが，まさしく自分にぴったりだと思う方は，今すぐ医者をやめて実業家に転身することをお勧めする。私などは全くダメで手固く医者を続ける以外にない。

風来坊的医者人生

宮崎市　富吉共立病院　大塚伸昭（おおつかのぶあき）

40才頃に色々なことがあって「臨床医は辞めた！」と決断して，熊本市内の生命保険会社の社医になった。６年間しか住まなかった宮崎の自宅は売却し，書斎の医学書や医学雑誌約1,000冊の一部を自宅庭で焼却し，残りの書物は業者に依頼して処分した。妻の話では処分した書物は４ｔトラック１台分あったとのこと。生命保険会社の仕事は夜間に起こされることが無い。また，患者の状態を気にする必要も無く安眠でき，ストレスは全く無かった。根が真面目なので外来，入院患者の診断や治療内容は正しいのかが気掛かりで寝付けないこともあったが，それも無くなった。夏，冬は１週間以上の休暇が取得できたので，子供達と一緒に海外旅行にも行くことができた。上述のように楽な生活をして忙しかった臨床医と同じ給与をもらえたので，こんな医者の仕事もあるのかと驚いた。その後，３年間ほど臨床に戻ったが，精神的に楽な生活が忘れられず？宮崎市広島通りにあるＤ生命保険会社で15年間勤務した。保険会社勤務医の仕事は生命保険加入者の診察である。診察といっても問診，血圧測定など簡単である。会社に保険加入者が診察に来ることもあるが，多くの場合は会社などに出向いて診察する。診査が無い時には自宅待機していれば良い（これは私だけの特例であったが）。臨床の忙しさに疲労困憊している先生もいらっしゃるかもしれない。私の辿った道を余りお勧めはしないが，こんな生き方もあるということを知っておくのも損では無いように思う。医師としては異端な生き様をしてきたが，２年前から現在の職場で臨床をしている。今迄，医者としてはバチ当たりな生活をしてきたので，人生の最後くらいは真っ当な医者人生を送って何らかの貢献が出来れば，と思っている。

カット

人文系学問の効用

宮崎市　大西医院　大西雄二（おおにしゆうじ）

文部科学省が全国立大学に平成27年６月に出した通知で人文系学部が縮小され，理系や地域貢献を目指す人材の養成に力をいれる動きが拡がっている。これに対し，学術会議からは「多様な価値観を尊重し，物事に対する洞察力を深

め，人格形成に努めるためには人文系学問から得られる知識が不可欠だ。人文系の知は長期的には役に立つ」との反論がある。

本当であろうか。私は文学部と医学部を卒業している。もし私が医学部しか出ていなかったら実学と虚学で悩むことは無かったであろう。医学は役に立つと誰でも思っているからである。現に私が生計を立て余り不自由せずに生きてこられたのは医学を修め医者になったからである。

私の頭のなかには教養というより人文系知識のゴミの山が溜まっている。道に迷い，文学書を読み，哲学書を読み鬱々とした青春を送った。答えのない問いに呻吟し，目にみえる成果とは無縁の人文的なものに浸り，自分の人生の意義を求め悪戦した。そもそもそのこと自体が私の人生に不利ではなかったのか。挫折を経験することは若者の特権であると勝手なことを言う人がいるが，挫折を繰り返した私の人生の時間は矢張り無駄であったと後悔のほぞをかんでいる。役にたつ金になる学問以外はやらなくていいという考えに賛同する誘惑に捕われる。私のような中途半端な人間を創りださないためにも。

ただ，どこに居場所があるのか悶々とし，自我の自立を求めた時期はもう取り戻せない。

人文系の知は本当に必要かどうか分からないが，私の人生が無駄に終わらないためには，一生をかけてこの時間の経験と知識からささやかな糧をえたい。悔しいが私に言えることはこのことぐらいである。

ツタンカーメンの豆

宮崎市　高宮病院　古賀繁喜（こがしげき）

この３月に喜寿を迎えて身体が動ける内と思い，５月の連休明けに家内と３泊４日の東北旅行をした。仙台で１泊。翌日レンタカーを借りて平泉，鳴子，山形，蔵王エコーラインを巡り観光した。平泉で中尊寺の金色堂を拝観した時に奥州平泉文化を創り出した藤原清衡，基衡，秀衡の３遺体と泰衡の首桶が安置されている事を知った。昭和25年の学術調査で首桶に入っていた蓮の実を関東学院大の大賀一郎博士が保管した。その後平成10年に，博士の教え子・長島時子教授がその蓮の実を発芽，開花させた。809年の歳月を経て中尊寺ハス（古代ハス）の蘇生である。また，昭和26年に千葉県検見川での学術調査で大賀博士は青泥層からハスの実を発見し，その実を発芽，開花させることに成功した。約2,000年前のこの古蓮は「大賀蓮」と呼ばれている。

続いて豌豆（えんどう）の話になるが，５年前に私は友人から紫色をしたツタンカーメンの莢豆（さやまめ）を２莢貰った。11月にその豆粒を蒔いたら３月には紫紅色の綺麗な花をつけ，４月には濃い紫色の莢豆が生った。２合位の収穫があったので豆ごはんにして，遠い昔のエジプトの人たちを想い浮かべながら食したが，翌朝には赤飯のように色づいていた。ツタンカーメンはエジプトのファラオ（王）でその在位期間はBC1333～1324年で18歳の若さで死去している。AD1922年に英国の考古学者によりツタンカーメンの墓が発見され，黄金のマスクを被ったファラオのミイラが出土した。数々の副葬品の中に入っていたエン

ドウ豆を蒔いたら，春には花が咲き，実が生ったのである。そのエンドウ豆を「ツタンカーメンの豆」と呼ばれて各地へ広まったとされている。3,300余年前の古代エンドウ豆，3,200年余の眠りから覚め蘇ったツタンカーメンの豆が，巡り巡って私の手に入り，毎年春になったら紫紅色の綺麗な花を咲かせている。由緒ある濃い紫色の莢豆を見ていると古代エジプトへ想いを馳せ，ロマンを感じさせてくれるのである。

笑うことが好きですー２

串間市　のだ小児科医院　野（の）田（だ）　隆（たかし）

還暦の時に同じ題名で投稿しました。実は南那珂医師会の「波状岩」という雑誌に４編投稿していますので，これが６編目です。

今回は，大人にインフルエンザの注射をする時に出した問題を紹介します。考えている間に注射を済ませてやろうという目論見です。

・レストランでウナギが出た。何故か？
　→ウナギが養殖(洋食)だった。
・蛸を最初に食べたのは，日本人か？外国人か？答えは外国人。
　→タコ食うの人。他国ぅの人。
・３月に梅の木の下でプロポーズ。振られました。４月に桜の木の下でプロポーズ。
今度は大成功。何故か？
　→気(木)が変わった。
・老人ホームに行くとみんな部屋にいないで通路にいます。何故か？
　→老化(廊下)現象です。
・インフルエンザの接種をする場所を英語でParkingと言います。何故か？
　→駐車(注射)場。
・博多ですぐなくなる和菓子は？答えは最中。何故か？
　→もー無かっ！→もなか。
・小児科医は若はげが多い。何故か？
　→子ども相手だけに儲け(もう毛)が少ない。
・ドラえもんはどら焼きが大好物ですが，あんこと皮とどっちが好きでしょう。
　昔のバージョンの主題歌から考えます。「あんあんあん，とっても大好きドラえもん」ですから，餡が好きという答えと餡を取っても大好きだから皮という２つの答えがあります。
・パンはパンでも食べられないパンは？
　答えはフライパン。他にもないかな？と大人には別の答えを要求します。パンダという答えもありますが，パンダの中国名は大熊猫ですから，食べられるかもしれません。Ｇパン，短パンならいいですが，紐パンとなるとセクハラです。
・静かなカニは何？答えは沢蟹。何故か？
　→さわがにぃー→騒がにぃー→沢蟹。
　ここまでくるとダジャレを言いたいだけでやっている様ですね。その通りです。

私は神戸生まれですから，しゃれ神戸です。落語家になれなかった落伍者です。

なお，こういうジョークや洒落には著作権がないそうですから，ご自由にお使いください。

サラブレッドはトップアスリート

宮崎市　獅子目整形外科病院　獅子目（ししめ）　賢一郎（けんいちろう）

毎年12月に香港で国際競馬が行われます。年末の忙しい時に競馬なんて！と思われるかもしれませんが，サッカーワールドカップと同じで見ておくべきスポーツの国際大会なのです。サラブレッドは父と母の血統を受け継いだ馬ですが，トップアスリートと同様だと思っています。

2016年は日本から13頭のサラブレッドが出走するのが分かっていたので，週末の大会に合わせて家族と見に行くことにしました。香港は1982年と1993年に夫婦で行った以来３回目です。今回は競馬だけが目的なので今まで行ったことのない香港島の下町，北角というエリアに滞在しました。部屋から見える夜景は，香港島と九龍島が一緒に見えて綺麗でしたがそんなことはどうでもよく，まずは現地の競馬新聞を購入。馬の名前が英語と漢字で表記されていて分かりやすいです。競馬のある日曜日まで，オクトパスという交通ICカードでダウンタウンにしかない二階建てのトラムや地下鉄，バスやフェリーもシニア値段で乗り放題でした。

この周辺では日本人や観光客に一度も会いませんでした。地元の人が通うミシュラン一つ星の香港式飲茶やタイ料理店など手頃でおいしい食べ物屋さんも多く，生き生きとした香港のダウンタウンがすっかり気に入りました。

日曜日いよいよ地下鉄に乗って沙田競馬場へ。大きさは小倉競馬場くらいでやはり大英帝国の伝統を引き継いでいるなと感じました。地下鉄を降りると入り口はすぐで，その場でVIPエリアに入れるチケットを購入しました。限定の帽子をもらい，中に入るとあちこちから日本語が聞こえてきました。馬券購入を手伝ってくれる人がいるので単勝，馬連など普通に購入できます。パドックに馬の様子を見に行って馬券購入，レース観戦と忙しく動き回り，ついつい一緒に来ていた家族のことを忘れていました。

主に４つのG1レースがあり，香港ヴァーズでは日本馬が勝ち，君が代を聞けました。香港マイル，香港スプリントは勝てず，最後の香港カップでは日本の名手，武豊騎手のエイシンヒカリが大逃げを打ち，最後は引退をかけたもう一頭の日本馬，モーリスが勝利。また君が代を聞きました。

アフター香港カップの夜は豪勢なディナーとはいかず，中華料理にも飽きたので韓国料理を食べさっさと帰国しました。

その後の競馬レースは香港遠征馬が次々と勝利しているのです。まず約半年後の６月４日，G1安田記念でサトノアラジンが勝ち，６月25日の宝塚記念でサトノクラウンが勝ちました。今後の競馬レースを占う意味でも，これからは乾期で寒くない香港競馬に行こうと思っています。

カット

趣味は　昆虫写真なのか，綾の散策なのか？

延岡市　生協クリニックのべおか　末岡常昌

昆虫の生態写真を撮り始めて，早10年くらいになる。散策する林道で，「何の写真ですか」と聞かれ，「この年齢で「昆虫」というのも大きな声では言いたくないな」と，心の中で思ったこともあったが，養老孟司だって「ゾウムシ」に凝ってデジタル写真集なる本まで出しているじゃないかと，最近は気にならない。

昆虫はチョウやトンボ，バッタにハチなど，生物の種の中で最も数が多い。私の興味は甲虫類，その中でも大きいクワガタやカブトムシには関心がない。何ミリレベルのとても肉眼では，アリやクモと区別のつかないような小さな昆虫，虫めがねがないと見分けられない様な虫たちがお気に入りなのだ。その為，カメラはEOS7D，レンズもEF100㎜のマクロにレベルアップした。

朝露の残る林道に向かうと，気温は18度前後。低木の常緑樹の葉の表や裏を見て歩く。黒いゴミ？虫の糞のようにも見える固まりが，急に飛んで消えていく。やはり虫だったんだと後悔し，まず一枚そっと映し出す。ズームで見ると，黒いゴマのようなものが実際は紅い斑紋をちりばめた翅のテントウムシであったり，キノコムシだったりして，感動する。こうした発見は，本当に一期一会の出会いで，その虫の生態の一瞬なのだ。「なぜ，ここにじっと止まっていたのだろう？」「この葉が食草なのだろうか？」いやいや，ダーウィンの言葉にあるように，それは誤解してしまう一観察場面に過ぎないのである。アリのように忙しなく歩き回るカミキリムシ，陰になると気配を感じて葉の裏や幹の裏に隠れてしまうゾウムシなど，息を凝らし身を強ばらせシャッターを押し，手持ちで撮る時間は止まったかのようにあっという間に時間が過ぎてしまった。それでも数十枚の画像のうち，ピントがあった保存に耐えるものは一割程度しかない。

フィールドは，渓谷や林道。宮崎は西に九州山地が連なり，東西を遮断している。多くの河川に注ぐ渓流沿いは，自然が残り多くの稀少動植物の宝庫だが，綾や北郷，加江田とどこもすばらしい。その中でも，綾は照葉樹林が保存され，落葉樹も常緑樹も幹の太さが1メートルを越す大木が多い。毎年のように同じ場所を訪れていると，倒木が朽ち苔生し粘菌やきのこが生えるに連れ，訪れる虫たちの種類が変化していく。ブナ科やカエデの生木に，穴を穿つキクイムシのために，いつの間にか枯死木となり，カミキリムシやゾウムシが訪れ産卵の場となる。こんな自然の森の変化は，街の近くの里山では中々見ることができない。

綾の照葉樹林は常緑樹が多いが，林床は落ち葉で敷き詰められ，ヤマドリが林床を足早に通り過ぎ，シカの悲し気な鳴き声の聞こえる…まさにマイナスイオンあふれる「癒しの空間」なのである。

「オオトラフコガネ（オス）」

寄　稿

あはき療養費も受領委任（代理請求）可能に？同意書作成の知識と理解の重要性

宮崎市　尾田整形外科医院　尾田朋樹（おだともき）

厚生労働省は平成29年４月26日の社会保障審議会医療保険部会において，柔道整復療養費と同様にあん摩マッサージ指圧，はり・きゅう療養費（あはき療養費）も2018年度中に「受領委任制度（医療保険への代理請求）」を実施できるよう進めていくと報告しました。既に受領委任制度が認められている柔道整復療養費での不正が相次いでいるとして慎重意見が強かったのですが，専門委員会の議論を経て「2017年度中のできる限り早期に行われる不正対策の具体的な制度設計の内容が適切なものであることを見極め，確認することを前提」として，あはき療養費でも代理請求を認める方向で議論が進んでいます。

本来，医療保険から支給される療養費（療養費制度）は，被保険者（患者）が一旦全額を支払った後に自己負担分を除いて保険者に請求する「償還払い」が原則です。保健医療制度が保険医療機関を介して被保険者（患者）に医療行為を給付する「現物給付制度」であるのに対し，療養費制度はやむを得ない事情で被保険者（患者）が「非保険医療機関」に支払った費用を保険者（医療保険）に請求し返還を受ける「現金給付制度」です。柔道整復療養費は施術者や代行業者による「受領委任（代理請求）」が認められており，地方厚生局による指導監督が十分に機能していない状況で，「白紙委任状」や「混合診療（施術）」が可能であることなどから，様々な問題が指摘されています。

「医業類似行為」に対する保険適応は「はり・きゅう」を除きかなり限定的で，柔道整復の場合，医師の同意書は必要ありませんが，認められるのは「打撲・捻挫・骨折・脱臼」の急性期のみです。一方であはき（あん摩マッサージ指圧，はり・きゅう）は医師の同意書が必要で，保険適応の判断は医師の裁量に委ねられています。知っておくべき同意書作成のポイントは以下の通りです。

１．健康保険の適応となる「医業類似行為」は医療の給付に代えて，あるいは補完的役割を果たすものであり，被保険者（患者）に医療との選択の自由を与えたものではないこと。
２．同意を求められる医師は原則として「当該疾病にかかわる主治の医師」であること。
３．専門外であることを理由に「無診察の同意」は禁止されていること。
４．往療（往診）は完全な「寝たきり状態」か「介助者が車椅子を押さないと身動きが取れない状態」に限られ，認知症や精神疾患の有無，家族の送迎が必要などの「事情」は認められないこと。
５．療養費の支給は，「やむを得ない理由により保険医療機関以外での診療を受けたとき，又は保険者が保健医療の給付が困難であると認めた場合」に限られること。

「あん摩マッサージ指圧」の適応症は「麻痺による筋萎縮・関節拘縮」のみであり，目的は筋力増強および関節可動域の改善です。慰安や疲労回復目的，つまり「気持ち良いから」は認められず，身体の機能障害が前提であるため高齢者の場合は「要介護度」との整合性が求められます。特に「往療料」は基本料である1,860円に加えて距離に応じた最高2,400円の加算が施術の都度に認められ，「往療に同意」するということは，タクシー代に相当する往療料を医療保険から支出する妥当性を医師が認めたということになります。

今回のあはき療養費に対する受領委任制度の拡大において特に問題視されているのが，「はり・きゅう」における健康保険の適応症が６疾患(神経痛・リウマチ・頸肩腕症候群・五十肩・腰痛症・頚椎捻挫後遺症)による「慢性的な疼痛の鎮痛」であることです。つまり保険適応の制約が無いに等しく，往療(往診)の可否についても医師の同意は不要とされているのです。

厚生労働省の発表する「国民医療費の動向」には，保険医療機関(病院，診療所)の外来医療費に「柔道整復・あはき」療養費が含まれて計上されています。近年，柔道整復療養費だけでも小児科・皮膚科・産婦人科・耳鼻科の診療所医療費より高額であり，特に「あはき」の療養費は件数・金額ともに急増(毎年20－30％の伸び率)しました。今後はこれまで以上に同意書を作成する医師に相応の「責任と見識」が求められることになるでしょう。国民健康保険制度の適正かつ健全な運営には，療養費制度に対する医療側の十分な知識と理解が必要なのです。

おことわり

本原稿は宮崎市郡医師会報第1086号(2017.7.15発行)に掲載されたものですが，宮崎市郡に限らず多くの方々に目を通していただきたいと考え，本誌への掲載をお願いしたものです。

宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館１階の「医療情報コーナー」では，分かりやすい医療や介護の本，闘病記のほか，難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので，お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索，ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日　10：00～19：00，土曜日　10：00～18：00
休 館 日：日曜・祝日，12月29日～１月３日，８月14日～15日，特別整理期間(３日間)

〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101番地
TEL 0985-22-5118　E-mail：tosho@miyazaki.med.or.jp

宮崎グルメ探訪　No. 1

福鮨

宮崎市　稲倉医院　稲倉琢也（いなくらたくや）

数年前まで神宮にありましたが閉店となり２年ほど前に中央通りに復活したお店です。客席はＬ字型のカウンターだけで８人で満席となります。白木のカウンターにネタケースはなく，大将の包丁さばきや仕事を間近で見ることができます。今年の４月に代替りして現在が５代目となりますが，ここの特徴はなんといっても江戸前伝統の赤酢を使った赤シャリです。近年は関東でも珍しくなった赤シャリですが，酸味と甘味のバランスが絶妙で，ひと仕事加えたネタとの相性もばっちりです。ワサビは本山葵を鮫皮おろしですっていただきます。先代の頃は大将の気分やノリでいろんなネタがカウンターにてんこ盛りに供されたりする豪快なお店でしたが，経営者が変わった現在は上品にひと品ずつ供されるスタイルとなっています。八寸，一品料理，刺身，握りのお任せコースが7,000円，純米を中心とする日本酒の品揃えも豊富です。最後にわさび巻き（通称涙巻き）で締めるのが小生のスタイルです。フェイスブックもやっていますのでご興味のある方は一度覗いてみてください。

「コハダの新子５尾付け」

「利尻産ウニ」

「宮崎グルメ探訪」原稿募集

今月号からはじまりました「宮崎グルメ探訪」の原稿を募集いたします。

会員の先生方は宮崎の美味しいお店をたくさんご存知のことと思います。

そこで，お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦め料理，お店での思い出話など，何でも結構です。ご投稿をお待ちしています。

原稿文字数：500字程度　　写真：２枚まで

原稿送付先：宮崎県医師会　広報委員会　宛

〒880-0023　宮崎市 和知川原１－101

ＦＡＸ 0985-27-6550　ＴＥＬ 0985-22-5118

メール genko@miyazaki.med.or.jp

※原稿・写真とも出来ればファイルでいただければ幸いです。

※写真の掲載は白黒となります。

※予めお店へ了承を得ていただきますようお願いいたします。

◎掲載については，広報委員会にご一任ください。

エコー・リレー

（504回）
（南から北へ北から南へ）

散歩

延岡市　理恵内科クリニック　成田理恵（なりたりえ）

このところの趣味は散歩。散歩といっても通勤時の歩きが主なので趣味とは言えないのかもしれない。

通勤は片道約３㎞。河口から近いので水鳥に出会うことも多い。秋から冬にはカモが河岸で羽を休めている。よちよち歩く姿はとてもかわいい。鷺が狙った魚を捕獲する瞬間を見ることもできた。この時期はトンボを追いかける燕が急降下を繰り返す。高台を歩くと日向灘を望む。日の出の遅い季節は水平線から昇る太陽を眺めながら歩く日もある。

住宅街を歩く時の楽しみは庭に咲く花たちだ。お気に入りの花があるお宅の前をちょっと回り道して通る。道端の雑草も季節ごとにかわいい花を咲かせて目を楽しませてくれる。

最近は旅先でも散歩が欠かせない。スニーカーと日傘は必需品だ。以前は迷子になるのが怖かったが，最近はナビがあるので初めての街でも安心して歩ける。名所でなくてもちょっと路地を入っていくと古い町並みがあり，地方によって特色がある。神社の狛犬の表情も一つとして同じものはない。地名表示をみながらその町の歴史に思いをはせることもある。マンホール蓋の柄が自治体で異なるのに気づいたのも歩くようになってからだ。因みに延岡市のマンホール蓋にはのぼりざるが使われている。

車で通りすぎるだけでは気づかなかったことがたくさんあり，日々発見でワクワクする。時間があるなら３㎞くらいの距離は歩かないともったいない。さて明日はどんな風景に会えるのだろうか。

［次回は，宮崎市の土居 芳枝先生にお願いします］

夏の日の思い出

宮崎市　かわの内科クリニック　川野貴久（かわのたかひさ）

リレー随筆の原稿依頼がいつかは来るかなと思いつつ，毎号楽しみに眺めておりましたが，このたび縁あって私の回になりましたことをうれしく思います。

さて，今回の私の話では，夏が来れば思い出すことを綴りたいと思います。現在開業しております，ここ宮崎市天満の隣町「中村」では，毎年７月に地蔵様を子供たちが鐘を鳴らしながら山車に乗せて引き，そこに住民がバケツで水を掛ける「水掛け地蔵祭」があります。由来に関しては中村町延命地蔵尊協賛会チラシより一部抜粋改編して書きますと，「文久二年（1862年）旧暦７月23日に大淀川河口から木像が上がって来たところに中村側と宮崎側から網を投げ，中村側代表が見事に引き勝ちました。尊像は，明治の廃仏棄釈令により，壊される寸前橘橋南詰めの石坂屋が家に移し難を逃れていますが，明治10年の「西南の役」で薩摩軍が中村の町を焼き払った際に焼失しています。その後，焼け灰を練り合わせ，尊像に埋め込み，現在の２代目地蔵尊が造られ，善栖寺境内へ安置され現在に至っています。火難，水難祓いと児童達を守る地蔵尊として広く信仰を集めています」との由来があるお地蔵様の夏祭りです。

この祭りに私も小学校入学以前より参加しておりました。夏休みの絵日記にも書いた記憶があり，このお祭りの「鐘の音」を聞くと夏休みに入ったなあという昔の記憶が蘇ります。いつの日かまた，参加したいものです。「じぞさまちょいせ!!!」

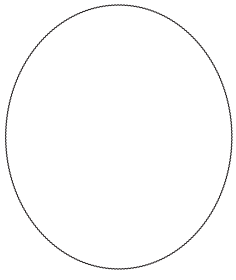
［次回は，西米良村の片山 陽平先生にお願いします］

表彰・祝賀

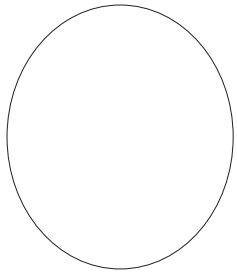
医療功労により県知事表彰

橋口兼達（はしぐち かねのぶ）先生（宮　崎）
大窪利隆（おおくぼ としたか）先生（都　城）
岡村公子（おかむら ひろこ）先生（延　岡）
古賀正広（こが まさひろ）先生（日　向）
大森史彦（おおもり ふみひこ）先生（児　湯）
黒木重晶（くろき しげまさ）先生（西　都）

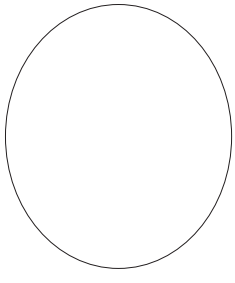
平成29年６月17日，医療功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。



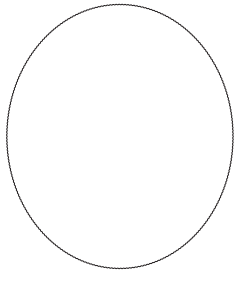
大窪 先生



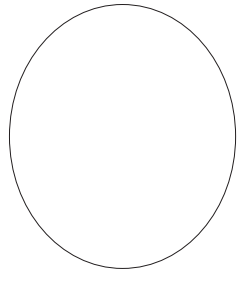
岡村 先生



古賀 先生



大森 先生



黒木 先生

あなたできますか？

－平成28年度 医師国家試験問題より－

（解答は45ページ）

1　疾患と症状の組合せで**誤っている**のはどれか。
a　ノロウイルス感染症 ―― 嘔　吐
b　甲状腺機能亢進症 ―― 便　秘
c　上部消化管出血 ―― 黒色便
d　潰瘍性大腸炎 ―― 粘血便
e　消化管閉塞症 ―― 腹　痛

2　38歳の男性。発熱と陰嚢痛とを主訴に来院した。５日前から39℃台の発熱、悪寒，頭痛および耳前部の痛みを自覚していた。２日前から発熱と痛みは軽快していた。本日朝から左陰嚢の腫大と疼痛，下腹部痛および悪心を自覚している。２週間前に６歳の息子が流行性耳下腺炎と診断されていた。流行性耳下腺炎のワクチン接種歴はない。その他の既往歴に特記すべきことはない。身長172㎝，体重68㎏。体温36.8℃。脈拍76/分，整。血圧134/80㎜Hg。呼吸数16/分。頸部リンパ節は触知しないが両側顎下部に軽度の圧痛を認める。左陰嚢に軽度発赤を認める。左精巣は腫大し強い自発痛を認める。
　診断として考えられるのはどれか。
a　精巣腫瘍
b　急性精巣炎
c　精巣捻転症
d　壊死性筋膜炎
e　急性精巣上体炎

3　５歳の男児。咳嗽と呼吸困難とを主訴に両親に連れられて来院した。３日前から発熱，咳嗽および喘鳴が出現したため，かかりつけ医を受診しβ_2刺激薬の吸入と経口副腎皮質ステロイドが処方された。昨夜から解熱したが呼吸困難のため夜間眠れなくなり，再度かかりつけ医を受診したところ喘鳴と鎖骨上窩の皮膚の握雪感とを認めたため紹介された。来院時，会話ができない状態であった。
　この患児の胸部エックス線写真で予想される所見はどれか。**２つ選べ**。
a　心拡大
b　皮下気腫
c　肺過膨張
d　胸腺肥大
e　肋間の狭小化

4　食物アレルギー症状を引き起こすことが明らかになった食品のうち，加工食品に表示が義務付けられている特定原材料はどれか。**３つ選べ**。
a　卵
b　小　麦
c　そ　ば
d　大　豆
e　ゼラチン

5　感染症法に基づき，すべての医師がすべての患者の発生について届出を行うのはどれか。
a　水　痘
b　梅　毒
c　突発性発疹
d　伝染性紅斑
e　性器ヘルペス

6　たばこについて正しいのはどれか。
a　長期喫煙によって気道分泌が抑制される。
b　禁煙治療では喫煙本数の目標を設定する。
c　主流煙は副流煙よりも粒子状物質を多く含んでいる。
d　健康日本21（第二次）における妊婦の喫煙率の目標値は０％である。
e　禁煙でたばこ関連疾患の予防効果が期待できるのは70歳未満である。

7　心拍数と脈拍数が**一致しにくい**のはどれか。
a　心房細動
b　心房頻拍
c　Ⅰ度房室ブロック
d　完全房室ブロック
e　４：１伝導の心房粗動

8　31歳の初妊婦。妊娠10週。妊婦健康診査でHBs抗原陽性，HBe抗原陰性が判明した。
　正しいのはどれか。
a　人工妊娠中絶を勧める。
b　Ｂ型肝炎ワクチンを本人に投与する。
c　児への感染予防のため授乳は禁止する。
d　ウイルスが胎盤を通して児の血液に移ることが多い。
e　抗HBs人免疫グロブリンを児に生後速やかに投与する。

9　幻視が多いのはどれか。
a　躁　病
b　うつ病
c　せん妄
d　統合失調症
e　心的外傷後ストレス障害

10　52歳の女性。生来健康であったが，１週間前の健康診断でコレステロール高値と甲状腺腫とを指摘され来院した。「１か月前に郷里の親戚が昆布を大量に送ってきたので毎日沢山食べていた」とのことである。
　予想される検査所見はどれか。
a　CK低値
b　FT_4低値
c　TSH低値
d　TRAb陽性
e　抗TPO抗体と抗サイログロブリン抗体がともに陰性

宮崎県感染症発生動向 ～６月～

平成29年５月29日～平成29年７月２日（第22週～第26週）

■全数報告の感染症

１類：報告なし。

２類：○結核15例（男性６例・女性９例）：保健所別報告数を【図１】に示した。病型別報告数を【表１】に示した。年齢別報告数を【表２】に示した。

３類：○腸管出血性大腸菌感染症３例：日南（２例），高千穂（１例）保健所管内から報告があった。

・０～４歳が２例で，主な症状として水様性下痢，嘔吐，腹痛，発熱がみられ，原因菌のＯ血清型はＯ26（VT1産生）である。

・60歳代で，無症状病原体保有者であり，原因菌のＯ血清型は不明（VT2産生）である。

４類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）４例：宮崎市（２例），延岡，日南（各１例）保健所管内から報告があった。

・60歳代で，主な症状として発熱，神経症状，下痢，血小板・白血球減少である。また，ダニの刺し口を有し，海外渡航歴はない。

・60歳代で，主な症状として発熱，下痢，食欲不振，血小板・白血球減少があり，ダニの刺し口はみられず，海外渡航歴はない。

・70歳代で，主な症状として発熱，全身倦怠感，血小板・白血球減少がみられ，ダニの刺し口はみられず，海外渡航歴はない。

・80歳代で，主な症状として発熱，頭痛，筋肉痛，血小板・白血球減少がみられ，ダニの刺し口はみられず，海外渡航歴はない。

○日本紅斑熱２例：宮崎市及び日南保健所管内から各１例ずつ報告があった。年齢はいずれも70歳代で，主な症状として発熱，発疹，頭痛，刺し口，肝機能異常，血小板低下がみられた。

５類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症４例：宮崎市（３例），延岡（１例）保健所管内から報告があった。

・70歳代が３例で，主な症状として胆管炎，腹膜炎，創部感染症がみられ，原因菌は*Enterobacter cloacae*が２例，*Enterobacter cancerogenous*が１例である。

・80歳代で，主な症状として肺炎がみられ，原因菌は*Escherichia coli*である。

○クロイツフェルト・ヤコブ病１例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で，病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）で診断の確実度はほぼ確実であり，主な症状として，進行性認知症，小脳症状，視覚異常，無動性無言状態，記憶障害がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症３例：宮崎市保健所管内から報告があった。

・０～４歳で，主な症状として意識障害，菌血症がみられ，ワクチン接種歴は平成29年５月に１回であった。

・60歳代で，主な症状として発熱，咳，肺炎，菌血症がみられ，ワクチン接種歴はなかった。

・70歳代で，主な症状として発熱，右肩関節痛がみられ，ワクチン接種歴は不明であった。

○梅毒２例：日南及び高鍋保健所管内から報告があった。いずれも20歳代男性で，無症候である。

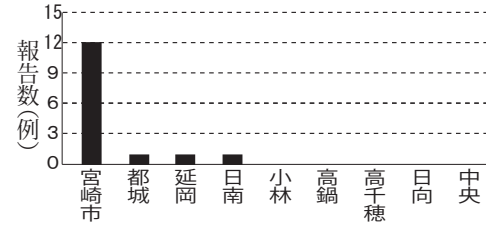


図１　結核　保健所別報告数

表１　結核　病型別報告数（例）

肺結核	7
無症状病原体保有者	7
擬似症患者	1

表２　結核　年齢別報告数（例）

年齢	報告数（人）
0～4歳	1
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	6
80歳代	4
90歳代	2

前月との比較

	2017年６月		2017年５月		例年との比較
	報告数（人）	定点当たり(人)	報告数（人）	定点当たり(人)	
インフルエンザ	98	1.7	254	4.3	
RSウイルス感染症	24	0.7	7	0.2	
咽頭結膜熱	137	3.8	132	3.7	
※溶レン菌咽頭炎	572	16.0	423	11.8	
感染性胃腸炎	1,359	38.0	1,264	35.1	
水痘	83	2.3	130	3.6	
手足口病	1,151	32.2	447	12.4	★
伝染性紅斑	16	0.5	21	0.6	
突発性発しん	187	5.2	127	3.5	
百日咳	1	0.0	0	0.0	
ヘルパンギーナ	219	6.1	34	0.9	
流行性耳下腺炎	39	1.1	33	0.9	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	55	9.2	46	7.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	3	0.4	3	0.4	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	9	1.3	25	3.6	

★　例年同時期（過去３年の平均）より報告数が多い
※　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■５類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,953人（定点あたり118.4）で，前月の133％と増加し，例年比で92％と減少した。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで，減少した主な疾患はインフルエンザと水痘，感染性胃腸炎（ロタウイルス）である。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病である。

手足口病の報告数は1,151人（32.2）で前月の約2.6倍，例年の約2.4倍である。日向（52.3），都城（37.5），宮崎市（34.9）保健所からの報告が多く，年齢別では１～２歳が全体の約６割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は219人（6.1）で前月の約6.5倍，例年の約0.5倍である。宮崎市（9.6），日南，日向（各8.3）保健所からの報告が多く，年齢別では１～２歳が全体の約６割を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	インフルエンザウイルスAH1pdm09	4
	インフルエンザウイルスAH3	6
	インフルエンザウイルスB型（ビクトリア系統）	9
	インフルエンザウイルスB型（山形系統）	9
	アデノウイルス２型	1
	パラインフルエンザウイルス１型	1
	パラインフルエンザウイルス３型	3
	ヒトメタニューモウイルス	5
	コクサッキーウイルスA6型	5
	ライノウイルス	11
	サイトメガロウイルス	1
	ムンプスウイルス	1
	麻疹ウイルス（ワクチン株由来）	1
細菌	*Salmonella* Schwarzengrund（04:d:1,7）	1
	Salmonella Stanley（04:d:1,2）	5
	Salmonella Miyazaki（09:1,z13:1,7）	1
	腸管出血性大腸菌（EHEC）（O26:H11 VT1,2）	1
	腸管病原性大腸菌（EPEC）（O26:H11）	1
	Neisseria cinerea	1

■月報告対象疾患の発生動向
＜2017年６月＞

□性感染症

【宮崎県】　定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人（3.1）で，前月比121％と増加した。また，昨年６月（2.8）の111％である。

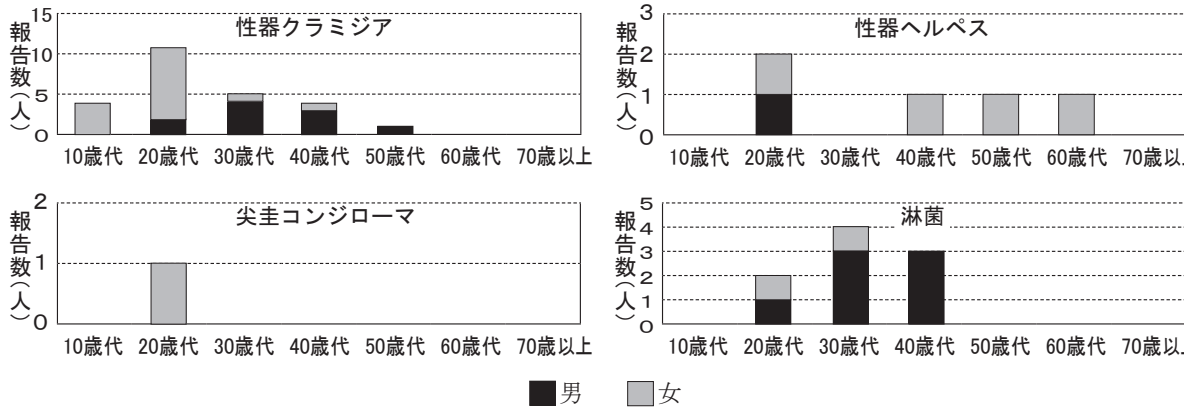
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数25人（1.9）で，前月及び昨年６月の約1.3倍である。20歳代が全体の約４割を占めた（男性10人，女性15人）。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数５人（0.38）で，前月の約1.7倍，昨年６月の1.0倍である（男性１人，女性４人）。

○尖圭コンジローマ：報告数１人（0.08）で，前月の0.5倍，昨年６月の約0.3倍である（女性１人）。

○淋菌感染症：報告数９人（0.69）で，前月及び昨年６月の約1.1倍である（男性７人，女性２人）。



□薬剤耐性菌

【宮崎県】　定点医療機関総数：７

定点医療機関からの報告総数は21人（3.0）で前月比100％と横ばいであった。また昨年６月（3.4）の約0.9倍である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人（2.9）で，前月の1.0倍，昨年６月の約0.8倍である。70歳以上が全体の約６割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数１人（0.14）で，前月の1.0倍である。年齢は70歳以上である。（昨年６月報告なし。）

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各郡市医師会だより

西　諸　医　師　会

新聞やテレビ報道などで皆様ご存知のことと思いますが，分娩を扱ってこられていたえびの市の医療機関が，８月からその取扱いを休止されることとなりました。昨年末には小林市内で分娩を扱っていた有床診療所が休診となり，これで西諸地域においては分娩を取り扱う医療機関がなくなることとなり，宮崎県内の二次医療圏では初めてお産難民が生じてしまうことになります。

常日頃から24時間365日，産科医療に携わっていらっしゃる先生方には頭が下がる思いです。小生のように，いかにして仕事の重圧から逃れようかと思いを巡らせている人間にとっては考えられないことです。一昔前に「24時間戦えますか～」のキャッチコピーで売り出した栄養ドリンクのCMが脳裏をよぎり，とても自分には無理なことだと感じ入ります。

2003年に小林市が「経営効率化」の一言で，小林市立病院の産婦人科診療体制を一方的に途絶えさせたことが端緒になっているように感じます。将来的な地域医療の展望を何ら描くことなく，今になってそのつけが地域住民に大きく反ってきているのではないでしょうか。そのような経緯があるにもかかわらず，宮崎大学産婦人科学教室のご配慮により，小林市立病院で現在は週に２日の妊婦健診及び婦人科検診が再開されています。14年も経ちますと，行政にとっては「舌の根も十分に乾いてしまった」ということでしょうか。（花田　武浩）

宮　崎　市　郡　医　師　会

宮崎市郡医師会病院，市郡医師会，及び付属施設の移転集約化に関して着々と計画が進んでいます。設計図はほぼ確定し，宮崎市の協力の下に広大な用地確保も終え，これから実質的な建設計画に入ろうとしています。宮崎市夜間急病センターの運営に関しては，小児科は県立病院内での診療は現状通りですが，数年以内に直面する当直医不足が影響するであろう内科・外科当直が，従来通り医師会主導の診療となるのか，あるいは病院主体の診療となるのかは現時点で未確定の部分も残されており，今後協議の対象となりましょう。

戸敷宮崎市長の深いご理解と献身的な働きかけのお陰でここまで進んできましたが，宮崎市民のみならず市内外の住民の医療面での安心安全を確保する意味でも，宮崎市郡医師会は一丸となって計画通りに新築移転を遂行する所存です。（田中　宏幸）

都城市北諸県郡医師会

当医師会は都城市の指定管理委託を受け夜間急病センターを運営しています。会員有志，宮崎大学医学部，会員以外の近隣で開業の先生方の協力で19:00～翌７:00までの救急外来診療を365日稼働させています。しかし会員有志の高齢化に伴い23:00～翌７:00の深夜帯の負担が重く，２，３年後にはマンパワー不足で深夜帯の診療ができなくなると予想されています。近隣の大病院に医師派遣の協力要請など案としては出ていますが実現には程遠い状況で，どこかに妙案はないものでしょうか。（義川　剛太郎）

延　岡　市　医　師　会

昨今の看護師不足は我々医療機関にとっては深刻な課題であり悩みの種となっています。延岡看護専門学校は昭和27年医師会立准看護師養成所として創設され，現在までに准看護師・看護師併せて5,329名の卒業生を輩出しております。

また県内定着率も90％近く，地域医療に大いに貢献してきました。しかし最近では各種看護系進学コースの多様化等で受験生の減少化が目立っています。そこで看護学校将来構想委員会を立ち上げ，看護学校の在り方並びに将来的な運営まで議論を深めることといたしました。同時に地元定着率の低下等についても議論を加え対策を検討する場にしています。（平野　雅弘）

日向市東臼杵郡医師会

当医師会内の訪問看護ステーション数は，５年前までは５事業所しかありませんでしたが，新設が相次ぎ現在10事業所となりました。当医師会は，超高齢化社会の到来を見据えて，在宅療養のニーズの増加に対応するため，訪問看護ステーションを平成７年に立ち上げ現在に至っています。

現在，医療依存度の高い利用者を24時間体制で看ることで，他のステーションとの棲み分けを行っています。

課題は，看護師の確保です。従来はパート雇用・契約職員として採用し，経験を積み重ねて正式に採用するという形態をとっていましたが，現在は本人が希望しない場合を除いて，最初から正職員として採用しています。

（渡邊　康久）

児　湯　医　師　会

６月22日児湯医師会総会が無事終了しました。昨年度の事業報告，今年度の事業計画が永友会長から説明され，昨年度の会計決算の承認もいただきました。宮崎県や県医師会等からも運営補助金をいただき何とか准看護学校も運営できています。会計を担当してみて改めて痛感いたしました。この場をお借りして感謝申し上げます。医師会員も講師として講義に参加していますが，高校を卒業した18歳の学生から，また社会人を経てから入学して真剣な眼で勉学に実習に励んでいる方々を見るたびに，少しでも講義でお役に立ちたいと思います。そして今までの沢山の卒業生が社会にしっかりと根付き，地域医療に貢献してくれていることに感謝したいと思います。（黒木　宗俊）

西都市西児湯医師会

先日，免許更新に行った際に視力確認の列が３列あったため，一番空いてる列に並びました。しかし認知症の疑いのある方が前におられ，結果かなり待たされました。その検査風景を見ながら，認知症による免許の返納・停止は必要だな，と感じていました。

そんな折，認知症は指摘されていないものの，年齢により自己返納された下肢知覚神経麻痺の方が，踵の褥瘡によるガス壊疽・骨髄炎で来院されました。車がなくなり病院受診が困難だったと…免許返納された方への行政による何らかの支援が必要と感じた瞬間でした。

（大塚　康二朗）

南　那　珂　医　師　会

日南市の健診受診率は近年増加してきていますが，生活習慣病に関する１人当りの医療費は依然として高額です。そこで，生活習慣病予防対策の一環として，特定健診を活用して，CKDの早期発見，重症化予防の取組みを本格化させ，「日南市CKD予防連携システム」を構築し，地域内に数少ない腎臓病専門医との連携を強化しようとしています。医師会は「協力医」システムをとり，行政とともに，透析への移行をくいとめ，心血管疾患のリスク軽減につながる活動となるよう役割を果たしていきます。

（竹中　晃司）

お知らせ

第18回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した，医家芸術展を８月13日まで開催しています。

今年は137点の作品が展示されています。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：８月９日㈬～13日㈰　10時～18時(13日のみ15時まで)
場　　所：宮崎県立美術館２Ｆ県民ギャラリー
　　(宮崎市船塚3-210　県総合文化公園内)
部　　門：写真，書道，絵画
出 展 者：宮崎県医師会員・ご家族(高校生以上)
問合せ先：宮崎県医師会 医家芸術展事務局
　　TEL 0985-22-5118　FAX 0985-27-6550

写 真 部 門

井ノ口　晶　子(宮 崎 市)　井ノ口　信　子(宮 崎 市)　井ノ口　麻利子(宮 崎 市)
木佐貫　冬　星(宮 崎 市)　楠　元　正　輝(宮 崎 市)　桑　原　淑　子(小 林 市)
酒　井　和　彦(都 城 市)　佐々木　　究(宮 崎 市)　竹　尾　康　男(宮 崎 市)
田　﨑　髙　伸(宮 崎 市)　田　中　宏　幸(宮 崎 市)　田　中　みどり(国 富 町)
谷　口　二　郎(宮 崎 市)　谷　口　美喜子(宮 崎 市)　西　村　篤　乃(宮 崎 市)
原　　政　樹(国 富 町)　日　髙　利　昭(延 岡 市)　藤　浦　富　子(日 南 市)
藤　木　美津子(宮 崎 市)　前　田　俊　二(小 林 市)　丸　田　茂　徳(都 城 市)
康　田　明　照(日 向 市)　山　路　　健(都 城 市)　渡　邊　裕　之(日 向 市)
渡　邊　命　平(日 向 市)　渡　邊　美　子(日 向 市)

書 道 部 門

大　迫　文　子(宮 崎 市)　岡　村　公　子(延 岡 市)　篠　原　由紀子(宮 崎 市)
谷　脇　かおる(延 岡 市)　田　畑　直　人(宮 崎 市)　松　本　京　子(宮 崎 市)
美　原　矩　子(宮 崎 市)　山　内　　励(宮 崎 市)　弓　削　和　子(宮 崎 市)
弓　削　三重子(宮 崎 市)　吉　山　登志子(都 城 市)

絵 画 部 門

新　木　る　り(日 南 市)　安　藤　　宣(西 都 市)　石　川　万佐子(宮 崎 市)
内　田　　攻(宮 崎 市)　大　塚　早　智(宮 崎 市)　岡　本　栄　乃(宮 崎 市)
押　川　千賀子(宮 崎 市)　黒　川　基　樹(宮 崎 市)　黒　木　昌　幸(都 城 市)
酒　井　和　彦(都 城 市)　酒　井　美絵子(都 城 市)　瀬戸口　敏　明(都 城 市)
竹　村　龍之助(宮 崎 市)　谷　口　飛　鳥(宮 崎 市)　谷　口　二　郎(宮 崎 市)
谷　口　浩　子(都 城 市)　中　島　知　徳(宮 崎 市)　長　沼　恭　子(延 岡 市)
長　沼　弘三郎(延 岡 市)　藤　木　　浩(宮 崎 市)　淵　脇　和　男(都 城 市)
吉　山　絢　子(都 城 市)

(敬称略・各部門50音順・８月１日現在)

メディアの目

“ネットの海”に溺れぬように

西日本新聞社　宮崎総局長
中山憲康（なかやま　のりやす）

今年３月，「子どもとメディアみやざき」という民間非営利の団体が宮崎市に発足した。小児科医や保育士，大学研究者，教師，子育て支援者，マスコミ関係者などが結成を呼びかけ，現在，約30人の会員が活動する。電子メディア機器への過剰な接触が子どもたちの心身に与える影響を危惧し，実態把握や啓発，提言活動を目指している。今秋には乳幼児の実態調査を実施する計画だ。代表は宮崎市の小児科医，糸数智美氏。私も会員として参加させてもらっている。

インターネットと常時つながるスマートフォン（スマホ）は，単なる通信手段ではない。辞書・検索機能，写真・動画撮影機能，記録媒体とその能力は高く，持ち運び自由な携帯コンピュータのようだ。子どもたちのスマホ利用率も飛躍的に伸び，今年３月発表の内閣府の調査では，高校生が94.8％，中学生は51.7％と半数を超え，小学生でも27.0％と３割に迫る勢いだ。

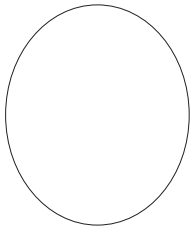
興味ある情報が満載のインターネットだが，不確かな情報やうわさ，フェイク（偽）ニュースさえ流されるのが実態。いじめや重大犯罪に巻き込まれかねない危険性もある。こうした“ネットの海”に子どもたちが溺れてしまわないように，大人社会が見守る役目がある。残念だが，電子機器発達のスピードに行政や教育機関の対応は追いついていないようだ。

会員らが，特に心配しているのが乳幼児。子育て中の親世代のスマホ所有率は高く，小学生より乳幼児の方が電子メディアへ過剰接触する場合がある。既にネット上には，赤ちゃんをあやす，子どもをしかる，褒めるなどの数多くのアプリがあふれている。乳児が泣きだすと，バッグからスマホを取りだして子どもをあやすアプリを探し始める親が普通に見かけられる時代だ。危機感を持った日本小児科医会も「スマホに子守りをさせないで！」「遊びは子どもの主食です」などのポスターを作成して配布している。ただ，孤立した子育てに悩む親が多いのも現実。スマホ子守りを全面否定しても問題は解決しない。対応策も含め，幅広いケアを考えていかなければならない。

昨年，県と県青少年育成県民会議は，専門アドバイザーとして「メディア安全指導員」を養成する３か年事業に乗り出した。既に認定された20人が県内各地の学校や幼稚園などで講演活動している。会では，意見交換をしながら，官民協働の取組みへと発展させていきたいと考えている。

宮崎大学医学部だより

総合周産期母子医療センター



児玉 由紀（こだま ゆき） センター長

宮崎大学の総合周産期母子医療センターは，ハイリスク妊産婦の母体，胎児，新生児を一貫して管理し，母体管理，新生児管理を担うセンターです。産婦人科のみならず，小児科，小児外科を含め多くの診療科に関わっていただくことで，日々チーム医療を実現した診療を行うことが可能となっています。心より感謝を申し上げます。

○沿革

平成８年５月，分娩部（産婦人科）と新生児治療室（小児科）が統合し，周産母子センターが設立されました。平成10年４月NICU（新生児集中治療室）の施設基準における３床が認可され，GCU（回復期治療室）６床と併せ９床の新生児治療を開始しました。その後増床に伴い，平成20年４月にはハイリスク妊婦と胎児の集中監視を目的としたMFICU（母体胎児集中治療室）３床が加わり，厚生労働省からの「総合周産期母子医療センター」の指定を受けました。センター開設以来，宮崎県内の周産期医療に関する独自の取組みが進んでいます。日本でもっとも安全に分娩ができる体制を目標に掲げ，日々診療に取り組んでいます。

○診療体制

総合周産期母子医療センターは，２つの部門から成り立っています。主に出生前から分娩までを管理する母体胎児部門では，早産，前期破水，多胎，妊娠高血圧症候群，胎児先天異常，及び合併症妊娠などにより，24時間体制での管理が必要な母体胎児を管理しています。新生児部門では，産婦人科医師が中心となり出生した児の新生児集中治療を行います。出生前後を一貫して産婦人科医師が管理することが，当センターの特筆すべき特長でもあります。また，県内の施設間で出生前の情報を共有し，タイミングを逃さずに母体・新生児搬送を受け入れ，宮崎県の「最後の砦」として，母児への最善の医療の提供に努め，県外施設との専門性に応じた連携も密に行っています。

○臨床成績

センターで取り扱う代表的疾患の１つが早産，及び出生した未熟児です。中でも，1,000ｇ未満の児を「超低出生体重児」と呼び，年間約30例の児を管理しています。また，先天性横隔膜ヘルニア，腸閉鎖，腸回転異常や腹壁破裂といった小児外科領域，水頭症に対する脳室ドレナージ，シャント術といった脳外科領域での手術，及び動脈管開存症に対する結紮術，眼科領域での未熟児網膜症に対する手術といった手術症例での周術期管理にも対応しています。さらに，2012年にはNO吸入療法を，2013年からは重症新生児仮死に対する低体温療法を導入し，県内で専門的治療を完結できる領域の拡大を進めています。

○地域医療

宮崎県内の約30の産科病医院を主に低リスク妊娠・分娩を扱う一次施設として位置づけています。一次施設にてリスク因子を拾い上げ，ハイリスク症例については二次施設（地域周産期医療センター），三次施設である本院（総合周産期母子医療センター）で支援する体制を整えています。このようなネットワーク体制により，宮崎県の周産期死亡率は出生1,000あたり3.0-3.6に低下しています。

○医学教育

大学病院として，医学生や研修医，助産師・看護師への医学教育を提供する場としての役割を担っています。毎週月曜日には県内の周産期センター，鹿児島市立病院，ベルランド総合病院（大阪），船橋中央病院（千葉）とのテレビカンファレンスを開催し，情報共有による相互教育，レベル向上を図っています。

○おわりに

当センターの役割は，宮崎県の周産期医療の中核として機能することであり，目的を同じくする宮崎県産婦人科医会をはじめ，多くの県医師会員の皆様のご協力に感謝いたします。

（病棟医長　紀（きの）　愛美（えみ））

宮崎県医師会医学会役員会

と　き　平成29年６月９日㈮
ところ　県医師会館

嶋本理事より開会，河野学会長の挨拶に続き，報告，協議が行われた。

報　告

平成28年度宮崎県医師会医学会について

平成28年９月３日に「現代社会に於ける子供を取りまく問題について考える」をテーマとし開催した。特別講演２題を，「子どもの肥満：現状と対策（食育への取り組み方）」と題し，帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科教授・学科長の児玉浩子先生に，「小児虐待の診断，捜査協力に画像診断を生かす」と題し，自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部教授の相原敏則先生にご講演いただき，出席者は102名であった。

協　議

平成29年度宮崎県医師会医学会の開催について

９月２日㈯に県医師会館で開催する医学会について，テーマ等の検討を行った。「宮崎大学の研修体制について」や「宮崎大学における新たな臓器別講座の綱要から今後の医師教育を考える」など多数の案が出され，最終的に執行部に一任しテーマと講師を選定することとなった。

出席者－河野学会長，濱田・中山副学会長，
弘野・四元・北村・田尻・肥後・
出水・坪井・杜若・蓑田幹事，
嶋本担当理事，小牧副担当理事
事務局；牧野課長，川端主事

医療事故調査制度

宮崎県医師会　相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として，県内の医療機関をサポートいたします。
医療事故の判断に迷った時，また，医療事故と判断した時は，宮崎県医師会までご連絡ください。

宮崎県医師会　電話　0985-22-5118

【受付時間】
平日の８時30分から18時，土曜日８時30分から12時30分の時間帯は，県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。
時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は，国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専門電話（03-3434-1110）にご連絡ください。

【その他】
この制度は，医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては，医療機関の管理者が組織として判断することになっており，ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

第166回宮崎県医師会定例代議員会（概要）

と　き　平成29年６月17日㈯
ところ　県医師会館

１．開　会

飯田議長が，代議員の定数及び出席代議員の確認を行い，定款第30条の規定に基づき定例代議員会の成立を宣言した。

続いて，定款第31条第２項の規定に基づく議事録署名人に，川名隆司代議員と増田好治代議員を指名した。

２．河野県医師会長挨拶（要旨）

社会情勢は，国の内外を問わず混沌とした状態が続いており，医療を巡る情勢も相変わらず厳しく予断を許さない。それでも県医師会は，医療の将来に道筋をみつけるべく，役職員一同全力を挙げて奮闘・努力している。

次年度は医療，介護にとって大変重要な意味を持つ年になる。愁眉の課題は多々あるが，中でも重要なものをいくつか選ぶと，地域医療構想等を含む第７次医療計画と介護保険事業計画の策定，来年４月から基本19領域の研修が一斉に開始される予定の新専門医制度，医療事故調査の支援者の養成，診療報酬及び介護報酬の同時改定，受動喫煙防止対策，医師の働き方改革，その他にも消費税や承継等の医業税制，医師・研修医確保，看護師をはじめとする医療従事者の確保，介護予防・対策，ロコモ・フレイル対策，高額医療材料・薬剤費，医政と選挙等々，多くの課題を抱えている。

我々，医師会の使命は「県民の生命と健康を守る。すなわち地域医療を守る」との大前提のもと，先生方のご協力をいただきながら日医や関連団体とも連携しつつ，役職員全力で取り組んでいきたいと考えている。

困難な状況を改善するには会員一人ひとりが同じ思いを持つことからはじまる。特に医政が重要で，ご存知の政治家や地域の行政には是非，医師会の想いを伝えていただきたい。先生方には今後とも更なるご支援をお願いし，挨拶とさせていただく。

３．報　告

１）平成28年度宮崎県医師会事業報告について

富田副会長が，定款第62条の規定に基づき６月６日の第１回理事会で承認された事業報告の説明を行った。

（要旨）国民皆保険の堅持，地域医療の充実，医療安全の確保を重点項目に掲げ，代議員の先生方，各郡市医師会，会員の先生方と協力しながら事業を実施してきた。

生涯教育の推進では，日医の生涯教育制度と連携し医学会や研修会を開催，また医学会誌を発刊した。

大きな問題である医師確保対策は，県内研修医の確保に向け，マッチング説明会，基幹型臨床研修病院説明会，また，女性医師離職防止及び復職支援対策として女性医師の保育支援サービス等，医師の働きやすい環境の整備等の事業を行っている。

地域医療構想は，昨年10月に策定され，今後，二次医療圏において調整会議が開催される。

大規模災害医療への対応は，昨年４月に発生した熊本地震に対して，宮崎県から８チームのJMATを派遣した。ご協力いただいた皆様に心から感謝を申し上げたい。

その他，医療安全への積極的な取組みとして，医療安全対策研修会や医療事故調査制度に関する支援を行っている。また介護

保険対策については，特に昨年度は認知症対策に力を入れた。

勤務医との連携に関しては，勤務医部会と協力して各種事業を行うと共に新研修医の説明会・祝賀会を１年次，２年次を併せて開催した。平成28年度は研修医１年次49名が医師会に入会した。

公衆衛生活動は，受動喫煙防止対策に加え，スポーツ医学に関連して，東京オリンピック，宮崎県での国体開催に向けて，行政も力をいれているので，県医師会としても協力していきたい。

平成29年４月１日現在，県医師会の会員数は，全体で30名増加し1,733名になっている。

最後に，本会の事業に対する皆様のご協力に心より感謝申し上げ，事業の報告とさせていただく。

２）平成29年度宮崎県医師会事業計画について

富田副会長が，定款第61条の規定に基づき３月14日の第４回理事会で承認された事業計画の説明を行った。

（要旨）今後も人口減少，また高齢化が進む中で，2025年に向けて，かかりつけ医を中心とした効率的かつ質の高い医療提供体制と，地域包括ケアシステムの構築に取り組んで行く。重点項目及び具体的事項を記載しているが，ほぼ前年度と同様の事業を計画している。

冒頭の会長挨拶の中で，現在の問題点，取り組むべき施策を述べられたので，そのことを十分承知しながら事業に取り組んでいきたい。引き続きご協力をお願いして報告とさせていただく。

３）平成29年度宮崎県医師会収入支出予算について

吉田常任理事が，定款第61条の規定に基づき３月14日の第４回理事会で承認された収入支出予算の説明を行った。

（要旨）平成29年度予算の特徴は，会館修繕計画に基づき400万円程度の修繕を行うことと，第２回会館建設協力債１億1,500万円を返済すること。

経常収益計は前年度予算比1,593万2,000円減の４億4,430万3,000円，経常費用計は，前年度予算比1,681万7,000円減の４億2,439万9,000円で，当期経常増減額は1,990万4,000円増の見込みである。

法人税，住民税及び事業税は，均等割のみの10万円を計上，正味財産期末残高は1,463万6,000円の増額を見込んでおり，当期の資金ベースでの収支差額はマイナス846万2,000円となる。

４．議　事

議案第１号　平成28年度宮崎県医師会収入支出決算に関する件

吉田常任理事が，定款第62条の規定に基づき６月６日の第１回理事会で承認された収入支出決算の説明を行った。

（要旨）一般正味財産増減の部，経常収益の正会員受取会費の決算額は前年度とほぼ変わらず１億7,898万円。次に手数料収益は，前年度比586万5,000円減の7,098万円余で治験事業の案件減が主な要因となっている。続いて事務室貸与収益は，医師国保組合の事務室賃料引下げにより前年度比106万余減の1,559万円余。受託事業等収益の決算額は１億3,899万円余。前年度比675万円余の減となっている。雑収益の決算額は1,844万円余で，会員名簿広告料収入等により，前年比323万円余の増額となった。以上により，経常収益計は４億5,515万1,860円である。

続いて経常費用は，給与手当の決算額が8,889万円余，会議費の決算額が1,954万円余。旅費交通費は，九医連担当県交替により，前年度比471万円余減の3,682万円余。次に印刷製本費は1,024万円余で，会員名簿印刷費用を含め461万円余の増。諸謝金2,833万円余，助成金2,931万円余，委託費4,402万余は主に受託事業による支出となっている。以上により，経常費用計は４億1,079万8,038円である。

経常収益から経常費用を差引き，当期経常増減額は4,435万3,822円の増で，ここから28年度法人税の均等割71,000円を差引き，当期

一般正味財産増減額は4,428万2,822円の増となった。

続いて，指定正味財産増減の部の受取寄付金，大規模災害対応基金積立資産は，災害救助法が適用され今年３月に熊本県から返還された336万円余を含め，使途が定められた寄附金として区分計上している。

これらを含めて当期指定正味財産増減額は1,420万8,793円の増，正味財産期末残高は，９億2,443万9,289円となる。

続いて正味財産増減計算書内訳表の公益目的事業比率は，経常費用の総合計４億1,079万8,038円を分母とし，公益目的事業の経常費用計２億9,790万3,241円を分子として算出している。公益目的事業比率は72.51％で，50％以上という基準を満たしている。

次に，収支相償の判定は，28年度も，収益事業から公益目的事業への利益の繰入を50％超とし，他会計振替額の3,302万6,881円を公益法人会計に繰り入れたが，それでも公益目的事業会計は797万546円の赤字となり，収支相償の基準も満たしている。

遊休財産額は２億5,840万5,623円で適合判定となっている。

以上，吉田常任理事の説明が行われた後，監事を代表して，赤須監事から「５月31日，中村監事，小牧監事と共に監査を実施し，出納正確で関係法令，定款等に従い違反等も認められず，関係書類等も整備され適正妥当と認めた」旨の監査報告が行われ，議長採決の結果，議案第１号は賛成全員で原案どおり可決承認された。

議案第２号　平成30年度宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

吉田常任理事から，平成30年度の会費については，宮崎県医師会会費賦課徴収規程に示すとおりとすることが提案され，議長採決結果，議案第２号は賛成全員で原案どおり可決承認された。

５．議長閉会宣言

最後に河野会長から謝辞があり，飯田議長が閉会を宣言し，第166回定例代議員会を終了した。

出席代議員及び出席役員は以下のとおり。

出席代議員

１番	髙崎直哉	
２番	内村大介	
３番	佐藤元二郎	
６番	川名隆司	
７番	市来能成	
８番	尾田朋樹	
９番	金丸禮三	
10番	楠元直	※
11番	神尊敏彦	
12番	田中俊正	
13番	中山健	
14番	田中宏幸	※
15番	弘野修一	※
16番	原田雄一	
17番	増田好治	
18番	三宅和昭	
19番	山村善教	
20番	済陽英道	
21番	飯田正幸	
22番	重平正文	
23番	田中穣弐	
24番	長倉穂積	
25番	仮屋純人	
26番	平野雅弘	
27番	赤須郁太郎	
28番	牧野剛緒	
29番	渡邊康久	
30番	古賀正広	
31番	永友和之	
32番	黒木重晶	※
33番	川越勝秀	※
34番	中村彰伸	

出席32名　※予備代議員

出席役員

会長	河野雅行
副会長	富田雄二
〃	濱田政雄
常任理事	立元祐保
〃	吉田建世
〃	小牧斎
〃	荒木早苗
〃	金丸吉昌
〃	佐々木幸二
〃	髙村一志
〃	石川智信
理事	川野啓一郎
〃	佐々木究
〃	岩村威志
〃	糸数智美
〃	花田武浩
〃	嶋本富博
監事	赤須巖
〃	中村周治
〃	小牧文雄

出席20名

平成29年度第74回宮崎県医師会総会

と　き　平成29年６月17日㈯
ところ　県医師会館

富田副会長が開会を宣言した後，まず平成28年度総会以降の物故会員（下記19名）の先生方に対し，参加者全員で黙祷を捧げ弔意を表した。

続いて，河野県医師会長の挨拶，来賓祝辞，来賓紹介が行われた後，各種表彰・祝賀が行われた。

◇物故会員に対する弔意黙祷

大藤　哲郎　先生（宮　崎）
千阪　治夫　先生（宮　崎）
黒岩ゆかり　先生（宮　崎）
福田　　實　先生（宮　崎）
永田　利安　先生（都　城）
塚田　嘉也　先生（都　城）
清永　　勉　先生（延　岡）
江崎　　豊　先生（延　岡）
二木　秀人　先生（日　向）
松岡　　弘　先生（日　向）
吉田　　隆　先生（児　湯）
後藤　有人　先生（児　湯）
岩田　達男　先生（南那珂）
島田　鳴海　先生（南那珂）
岩本　義美　先生（西　諸）
三部　正人　先生（西　諸）
前田　昭久　先生（西　諸）
隈元　一仁　先生（西臼杵）
田﨑　清廣　先生（西臼杵）

◇河野県医師会長挨拶（要旨）

本日は大変お忙しい中を鎌原宜文副知事，武井俊輔衆議院議員，江藤拓衆議院議員，長峯誠参議院議員，松村悟郎県議会議員，小山明俊県薬剤師会長をはじめとするご来賓に出席いただいている。さらに今回は特別に自見英子参議院議員にもご出席いただいている。

社会情勢は国内外を問わず先の見えない状態が続いている。そのような中でも，私どもは常に県民の生命と健康を守る，すなわち，地域医療を守る，その理念をいささかも揺るがせてはならない。今後も皆様と共に理念達成に邁進して参りたい。

本日はこの後，県医療功労者知事表彰等をはじめとした各種表彰の披露が予定されている。様々なご功績に対して改めて敬意を表して心よりお祝い申し上げる。

ご来賓の方々，ご参集の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念して，挨拶とさせていただく。

◇来賓祝辞及び来賓紹介

鎌原　宜文　県副知事
松村　悟郎　県議会議員
武井　俊輔　衆議院議員
江藤　　拓　衆議院議員
長峯　　誠　参議院議員
自見　英子　参議院議員
小山　明俊　県薬剤師会長
古川　禎久　衆議院議員（代理）
松下　新平　参議院議員（代理）

◇宮崎県医療功労者知事表彰

橋口　兼達　先生（宮　崎）
大窪　利隆　先生（都　城）
岡村　公子　先生（延　岡）

古賀　正広　先生(日　向)
大森　史彦　先生(児　湯)
黒木　重晶　先生(西　都)

以上６名の先生方に対し，宮崎県医療功労者知事表彰式が執り行われ，鎌原副知事から表彰状と記念品が手渡された。

◇永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関において，勤務年数が満30年に達した職員40名を代表して，山形幸四郎様(田中病院)に表彰楯が贈呈され，引き続き祝意に対し謝辞が述べられた。

◇永年勤続県医師会等事務職員表彰

県医師会等に20年以上勤務し功労があった職員１名に対し表彰状等が贈られた。

◇各種祝賀(高齢会員並びに各種表彰)

河野会長が高齢会員(米寿[６名]，喜寿[17名])の席に出向き，直接お祝い金と記念品を手渡し祝意を表した。

また，平成28年度総会以降，叙勲，大臣表彰，知事表彰等，県関係以上の各種表彰を受賞された28名の先生方に祝意を表した。その後，各種表彰者を代表して，河野会長から豊田清一先生にお祝いの記念品が贈呈され，引き続き祝意に対し謝辞が述べられた。

【高齢会員祝賀】

・米寿会員　６名
(昭和５年１月１日～昭和５年12月31日生)

近間　　悟　先生(宮　崎)
早稲田　睦　先生(宮　崎)
濵田　義次　先生(都　城)
丸田　次郎　先生(都　城)
吉山　政敏　先生(都　城)
宝珠山　弘　先生(延　岡)

・喜寿会員　17名
(昭和16年１月１日～昭和16年12月31日生)

綾部　隆夫　先生(宮　崎)
出盛　允啓　先生(宮　崎)
大野　政一　先生(宮　崎)
落合洋一郎　先生(宮　崎)
小野　武己　先生(宮　崎)
中野　太右　先生(宮　崎)
野中　皓介　先生(宮　崎)
原田　一道　先生(宮　崎)
早稲田芳男　先生(宮　崎)
石井　芳満　先生(都　城)
武田　信豊　先生(都　城)
藤元登四郎　先生(都　城)
赤須　　巖　先生(延　岡)
横田　　晃　先生(日　向)
前山　忠嗣　先生(児　湯)
江藤　胤尚　先生(宮大医)
髙崎　眞弓　先生(宮大医)

【各種表彰受賞(章)】

(平成28年６月18日(土)総会以降～現在まで)

平成28年７月１日
警察部外功労者表彰(警察協力章)
石井　芳満　先生(都　城)

平成28年９月５日
救急医療功労により県知事表彰
濱砂　重仁　先生(宮　崎)
髙見　博昭　先生(延　岡)
今給黎　承　先生(日　向)

平成28年９月９日
救急医療功労により厚生労働大臣表彰
相澤　　潔　先生(西　都)

平成28年９月９日
産科医療功労により厚生労働大臣表彰
井上　　博　先生(延　岡)

平成28年10月14日
精神保健福祉事業功労により県知事表彰
井上　雅文　先生(宮　崎)
水野　智秀　先生(日　向)

平成28年10月17日
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰
　黒木　和男　先生(南那珂)
平成28年10月27日
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰
　田中　昭彦　先生(都　城)
平成28年11月３日
保健衛生功労により瑞宝中綬章
　豊田　清一　先生(宮　崎)
学校保健功労により瑞宝双光章
　竹尾　康男　先生(宮　崎)
保健衛生功労により旭日双光章
　早稲田芳男　先生(宮　崎)
平成28年11月11日
公衆衛生事業功労により県知事表彰
　木佐貫健一　先生(宮　崎)
　坂口健次郎　先生(都　城)
　牧野　剛緒　先生(延　岡)
　山元　敏嗣　先生(南那珂)
平成28年11月23日
厚生労働行政の推進貢献による厚生労働大臣表彰
　細見　　潤　先生(宮　崎)
平成28年12月13日
従六位
　故・岩田　達男　先生(南那珂)
平成29年２月13日
公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰
　井之上睦美　先生(宮　崎)
　黒瀬　明治　先生(延　岡)
平成29年２月13日
公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰
　小池　祐一　先生(延　岡)
平成29年６月17日
医療功労により県知事表彰
　橋口　兼達　先生(宮　崎)
　大窪　利隆　先生(都　城)
　岡村　公子　先生(延　岡)
　古賀　正広　先生(日　向)
　大森　史彦　先生(児　湯)
　黒木　重晶　先生(西　都)

総会終了後，引き続き，同会場で懇親会を開催した。

お知らせ

クールビズについて

県医師会では，地球温暖化防止に向け，平成29年５月１日より平成29年10月31日までの間，県医師会館の冷房設定温度を上げ常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため，ご理解とご協力をお願いいたします。

九州医師会連合会第364回常任委員会

と　き　平成29年７月８日㈯
ところ　ホテルオークラ福岡

１　開　会

２　挨　拶

１）前九州医師会連合会長
熊本県医師会長　福田　稠

２）開催県医師会長
福岡県医師会長　松田　峻一良

３　報　告

１）第61回九州ブロック学校保健・学校医大会及び平成29年度九州学校検診協議会（年次大会）並びに関連諸会議について（佐賀）

平成29年８月５日，６日に佐賀県ホテルニューオータニ佐賀において開催することが報告され，佐賀県池田会長より各県より多くの先生方に参加していただくよう要請があった。

２）九州北部の大雨による災害について（福岡）

７月５日からの局地的な豪雨により被害のあった福岡，大分両県会長から状況報告があった。７月８日時点では福岡県内においては，DMATは活動中であるが福岡，大分両県ともJMATの派遣には至ってないとのことであった。

４　協　議

１）九州医師会連合会長・同副会長の互選について（福岡）

任期：平成29年７月１日
　　～平成30年６月30日

会長は，開催当番県の松田会長，副会長には次期開催当番県の鹿児島県の池田会長が互選された。

２）九州医師会連合会監事の選定について（福岡）

任期：平成29年７月１日
　　～平成30年６月30日

慣例により，当番県の福岡県に隣接する佐賀県と大分県から各１名の監事候補を推薦することが決定された。

３）九州医師会連合会第365回常任委員会（８月５日㈯佐賀市）の開催について（福岡）

原案どおりホテルニューオータニ佐賀で16:00から開催することが了承された。

４）九州医師会連合会第366回常任委員会並びに第113回定例委員総会（８月26日㈯福岡市）の開催について（福岡）

原案どおりホテルニューオータニ博多で16:00から開催することが了承された。

５）第１回各種協議会（10月28日㈯福岡市）の開催種目について（福岡）

各県からの開催要望を踏まえ開催県の福岡県から提案された地域医療対策協議会（地域医療構想，新専門医制度を含む），

医療保険対策協議会，介護保険対策協議会（在宅医療・地域包括ケア含む）を開催種目とすることが決定された。

6）その他

HIV医療講習会を各県個別に開催するのではなく九州医師会連合会で開催しては，との提案が福岡県から提案され了承された。

出席者―河野会長，山内事務局長

九州医連連絡会第25回常任執行委員会

と　き　平成29年７月８日㈯
ところ　ホテルオークラ福岡

1　開　会

2　挨　拶

1）開催県医師連盟委員長

福岡県医師会長　松田　峻一良

3　協　議

1）九州医連連絡会委員長・同副委員長について（福岡）

任期：平成29年７月１日
～平成30年６月30日

規約に従い，委員長に松田福岡県医師会長，副委員長に池田鹿児島県医師会長が就任することが決定された。

2）九州医連連絡会第18回執行委員会の開催について（福岡）

原案通り，８月26日㈯18：10から横倉日本医師連盟委員長，日本医師連盟選出国会議員を迎えてホテルニューオータニ博多で開催することが了承された。

3）その他

出席者―河野会長，山内事務局長

日医インターネットニュースから

■「いい医療の日」の制定について－
－ 日医提案 －

横倉義武会長は，６月28日の定例記者会見で，日医の設立記念日である11月１日を「いい医療の日」と定めることになったことを報告した。

日医ではこれまで，より良い医療の在り方について，国民と医師とが共に考えながら，さらなる国民医療の向上に寄与していくことを目的として，日医の設立記念日と「いい(11) 医(１)療」の語呂合わせから，11月１日を「いい医療の日」に制定することを提案していた。

横倉会長は，「このたび，記念日の文化的，歴史的，産業的な発展と，記念日情報の総合窓口としての活動等に取り組んでいる一般社団法人日本記念日協会に対して，『いい医療の日』の記念日登録の申請を行ったところ，認定を受け，記念日登録証が交付された」と説明。その上で，「この登録をきっかけに，『いい医療の日』が広く国民に認知されるよう，今後もさまざまな活動に取り組んでいきたい」と述べた。

（平成29年６月30日）

■新規医事関係訴訟，52件増の878件
－ 最高裁まとめ －

2016年に新たに受け付けた医事関係の民事訴訟は878件で，前年より52件増加したことが最高裁のまとめで分かった。16年に終局した既済案件は789件（前年比２件増）で，平均審理期間は前年より0.4か月延び，23.2か月だった。

16年の既済案件を終局区分別に見ると，和解が最も多い51.1％，次いで判決が34.1％，取り下げが5.6％などとなった。原告側の主張を一部でも認めた割合を示す「認容率」は前年比3.0ポイント減の17.6％で，1999年以降では最も低い数値となった。既済案件を診療科別に見ると，内科が169件，外科が114件，歯科が91件，整形外科が87件などとなった。

（平成29年７月４日）

■英文の総合学術誌，２月にも発刊へ
－ 日医，編集室を設置 －

医学，医療全般を扱う質の高い英文総合学術誌の発刊に向け，日本医師会は会内の国際課に新部署「JMAジャーナル編集室」を設置し，７月から実質的な活動を始めた。日医はすでに英文の情報誌「Japan Medical Association Journal」(JMAJ)を年４回発行しているが，これを学術誌にあらためる方針。新学術誌の第１号は，早ければ2018年２月にも発刊したい考えだ。日医の道永麻里常任理事は「将来的には日本発の権威ある英文学術誌にしていきたい」と意欲を見せる。

海外では，米国医師会の「The Journal of the American Medical Association」(JAMA)，英国医師会の「British Medical Journal」(BMJ)など，医師会発で高い評価を得ている学術誌がある。一方，JMAJでは，医学・医療関連論文や日医の活動・主張を掲載し，日本発の情報を世界各国の医学関係組織に届けてきた。ただ，論文引用回数に基づく評価尺度となる「インパクトファクター」を取得しておらず，あくまで情報誌としての位置付けにとどまっていた。

新学術誌は，JAMAやBMJに匹敵する水準を目指しており，日医は発刊準備と併せて，インパクトファクターを取得するための取り組みも進めている。これらの業務を推進していくために設置されたのが同編集室。担当役員の今村聡副会長，道永常任理事，羽鳥裕常任理事の下，日医国際課の職員３人が併任する形で業務を担う。日医内の学術担当である生涯教育課の職員も協力している。

●編集委員長に跡見氏，福井氏

新学術誌の名誉編集長は，横倉義武会長と日本医学会の門田守人会長が務める。外部の協力体制も構築中で，編集委員長には杏林大の跡見裕学長と聖路加国際大の福井次矢学長が，編集次長には国立成育医療研究センターの五十嵐隆理事長が内定。このほかの有識者にも編集責任者に加わってもらえるよう交渉していると

いう。

当初の発行ペースは年２回とする予定。JMAJは，世界的に知られる学術誌の検索サイト「PubMed Central(PMC)」に既に登録されているが，学術誌としての価値を高めるため，インパクトファクターの取得は不可欠だとみており，道永常任理事は「ノウハウを持つ民間企業の力を借りて取得していきたい」と話す。

今後の課題としては▽質の高い論文をいかに投稿してもらうか▽新学術誌の存在をいかに知ってもらうか―などがあるが，道永常任理事は「一つ一つ順番にクリアしていきたい」と意気込んでいる。　（平成29年７月７日）

■医介連携４テーマ，「次はない」
－ 介護改定で鈴木老健課長 －

社会保障審議会・介護給付費分科会で2018年度介護報酬改定に向けた議論が進む中，厚生労働省老健局の鈴木健彦老人保健課長がメディファクスの取材に応じ，改定の重要なポイントとして▽看取り▽訪問看護▽リハビリテーション▽関係者・関係機関の調整・連携―の４点を強調した。どれも医療と介護にまたがる課題で，今回，解消への道筋をつけなければ「次はない」と危機感をにじませた。

18年度は，６年に一度の診療報酬との同時改定となる。ポイントに挙げた４点は，今春に開いた「医療と介護の連携に関する意見交換」でも論点に挙げて中医協の委員らと議論した。これらの課題は，06年度や09年度の介護報酬改定などにおける審議では別々に議論の俎上に載せられ，これまでは一体的に議論する機会がなかったと説明。今回の同時改定を「いいチャンス」と表現し，保険局医療課と連携し「きちんと整理して流れをつくりたい」と2025年を見据えた決意を述べた。

医療と介護にまたがる課題として鈴木課長は，以前と比べ中重度の要介護者が医療施設から在宅にシフトしている現状を解説。在宅への対応が複雑化する中で，医療と介護がうまくすみ分けしつつ連携する必要性に言及した。例えばターミナル期になると，訪問看護は介護保険よりも医療保険での対応が増えてくるため「介護保険の範疇ではなくなってくる」と指摘。訪問介護などのケアの部分や，それを取りまとめるケアマネジャーと医師や看護師が，その段階でもうまく連携できるように調整しなければいけないとした。

連携方法に関する議論で必要性を求める声が多いICTの活用では「介護報酬上，どのように評価するかは慎重に考えなければならない」と指摘。医療側でも同様の課題があるとし，診療報酬との調整もしながら検討を進める。これまでの分科会の議論で賛成意見が多い，リハビリの早期開始や医師の関与については「総論賛成であっても各論でできるのか，という問題もある」と問題意識を表明。今後，方向性を示す。

●介護医療院への転換，介護老健と「同じ」

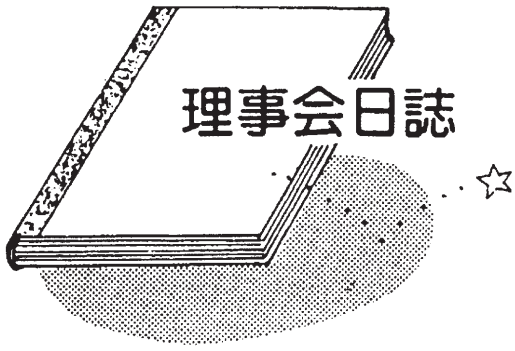
介護医療院への早期転換について，09年に介護療養型老人保健施設を設置したときと「構造は同じ」との認識を示した。転換支援策は「医師や看護師の配置の緩和や，面積など施設基準の緩和などをベースに考えることになる」とした。ただし議論を進める中で，当時の老健への転換では有効だったが介護医療院では必要ないことなども出てくると予測し，運営上の問題も含めて「きちんと対応したい」と述べた。

（平成29年７月11日）

日医インターネットニュースは日本医師会ホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。
日本医師会(http://www.med.or.jp/)＞メンバーズ＞日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザーID：会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)
◆パスワード：生年月日の「西暦２桁，月２桁，日２桁」の６桁の数字(半角)



平成29年６月６日㈫第３回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．本会外の役員等の推薦について

①HTLV-1（ヒトＴ細胞白血病ウイルス１型）母子感染対策協議会委員の推薦及び就任について

→HTLV-1母子感染対策が適切かつ円滑に行われるために設置された協議会で，任期満了に伴う推薦依頼があり，県医師会として濱田副会長を推薦すると共に産婦人科医，小児科医に関しては，現委員に再任の方向で意向を確認することが承認された。

②「宮崎県歯科保健推進協議会部会」における委員推薦について

→県歯科保健推進計画の政策について協議するため，新たに設置される部会で，県歯科保健推進協議会の委員に就任している荒木常任理事を推薦することが承認された。

③「宮崎県高齢者サービス総合調整推進会議」委員の推薦について

→高齢者に係る福祉・保健・医療サービスの推進と３年毎に策定される宮崎県高齢者保健福祉計画の検討を行うために設置される推進会議で，介護保険担当の金丸常任理事を推薦することが承認された。

２．６/17㈯（県医）第166回宮崎県医師会定例代議員会及び第74回総会について

当日の各会議の次第及びスケジュール並びに役割分担の確認が行われた。

３．学術生涯教育委員会と医学会誌編集委員会委員の変更について

県内科医会及び県皮膚科医会の申出により，学術生涯教育委員会の委員に牧元宏先生，医学会誌編集委員会の委員に姫路大輔先生及び牧元宏先生を委嘱することが承認された。

４．資金の運用について

建物減価償却積立資産1,000万円を運用（大和証券158回国債（20年）購入）することが承認された。

５．「宮崎市郡在宅医会（通称宮崎在宅ドクターネット）」連携協力機関としてご入会のお願いについて

医師の情報交換と多職種の連携によって住み慣れた地域で本人が望む医療を最期まで提供できる体制を構築することを目的にする会で，県医師会ではなく，県医師会在宅医療協議会として対応することが承認された。

６．業務委託について

①平成29年度医師養成・確保支援事業の委託契約について

→県内の医師不足解消を目的に，県外医師との交流会，若手キャリアプラン講演会，医師確保支援研修，臨床研修指導医養成，臨床研修病院説明会等を行う事業で，新たに医療人材早期育成事業を加え，引き続き委託契約を締結することが承認された。

②ロコモ予防みやざきアクション事業の委託契約について

→ロコモティブシンドロームに関する正しい知識の提供や運動の実践によって健康寿

命を延伸することを目的に行う事業で，一部減額されているものの引き続き契約を締結することが承認された。

（報告事項）

１．週間報告について

２．５月末日現在の会員数について

３．６／３㈯（熊本）九医連常任委員会について

４．６／３㈯（熊本）九州ブロック日医代議員連絡会議について

５．６／６㈫（県医）県学校保健会理事・評議員会について

６．６／６㈫（県医）学校保健・学校安全に係る表彰審査会について

７．５/31㈬（宮大医学部）地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会について

８．６／６㈫（県医）治験審査委員会について

９．６／２㈮（日医）救急災害医療対策委員会について

10．６／２㈮（日医）日医ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」について

11．５/31㈬（宮崎労働局）労災診療指導委員会について

12．６／５㈪（県医）県有床診療所協議会役員会について

医師連盟関係

（議決事項）

１．６/11㈰（MRTmicc）衆議院議員馳浩（はせひろし）先生を囲んでの昼食会のご案内について

「参議院議員長峯誠政経セミナー」の開催に併せ開かれる昼食会で，河野委員長が出席することが承認された。

２．７/28㈮（宮観ホテル）平成30年度国・県に対する要望について（自民党宮崎県支部連合会長・幹事長・政調会長より）

例年提出している要望で，メール等を用い追加項目を検討すると共に前回提出した要望を中心に確認作業を行った上で，改めて協議することが承認された。

３．８/10㈭（宮観ホテル）公明党宮崎県本部「政策要望懇談会」開催のご案内について

自民党と同様の要望を行うと共に政策要望懇談会に参加することが承認された。

４．６/17㈯（県医）県医師連盟執行委員会及び自見はなこ参議院議員国政報告会について

当日のスケジュール及び担当者の確認が行われた。

平成29年６月13日㈫第７回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．本会外の役員等の推薦について

①平成29年度健やか親子21全国大会実行委員会委員への就任について

→平成29年度健やか親子21全国大会が，宮崎県で開催されるのに伴い設置される実行委員会で，河野会長が委員に就任することを承認した。

②宮崎県訪問看護推進協議会の委員の推薦について

→訪問看護事業の円滑かつ効果的な推進を図るために設置される協議会で，任期満了に伴う推薦依頼があり，引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

③生活保護法に基づく県本庁嘱託医の推薦について

→前任者の辞任申し出により，欠員となっている県本庁嘱託医の推薦依頼で，県内科医会に人選をお願いすることが承認された。

２．後援・共催名義等使用許可について

①「はなみずきコンサート～想いをつなぐ～」チャリティーコンサートの名義後援に

ついて
→幅広い世代に「乳がん」について意識してもらうことを目的に，９月のがん征圧月間に併せ開催するチャリティーコンサートで，名義後援を行うことが承認された。

②認定アスレティックトレーナー養成講習会の名義後援申請について
→スポーツ振興や競技能力向上につながるよう，広くスポーツに親しむ方の健康管理等を行うスタッフの確保等を目的に開催される講習会で，名義後援を行うことが承認された。

３．平成29年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保，救急医療対策の推進に貢献した団体及び個人を表彰するもので，１名の個人を推薦することが承認された。

４．平成29年度救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について

救急医療体制の整備等，救急医療に関する功績が顕著な個人を表彰するもので，５名の先生方を推薦することが承認された。

５．産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり産科医療に従事し，地域の産科医療の確保・推進に貢献してきた医師を表彰するもので，再度県産婦人科医会で対象者を検討することが承認された。

６．世界医師会準会員の更新について

県医師会として，河野会長，富田・濱田副会長の更新手続きを行うことが承認された。

７．６/24㈯(東京)九州ブロック日医代議員連絡会議並びに同懇親会の開催について

日医定例代議員会に出席する河野会長，富田副会長，濱田副会長，立元常任理事が対象となる会議で，４名の状況を再確認することが承認された。

８．７/８㈯九州医師会連合会第364回常任委員会の開催について

福岡県医師会が九医連の担当となり初めて開催される会議で，報告及び協議事項の取り扱いについては，出席する河野会長に一任することが承認された。

９．10/28㈯(福岡)九州医師会連合会平成29年度第１回各種協議会の開催種目について

例年と異なり九州医師会総会及び医学会と同日，午前中に開催される各種協議会で，開催種目については，福岡県医師会に一任することが承認された。

10．６/17㈯(県医)県医師会定例代議員会及び総会等諸行事について

タイムスケジュール及び出席者等の最終確認が行われた。

11．県医師会役員等報酬支給について

県医師会役員等報酬等規程に基づき役員等報酬を支給することが承認された。

12．九州地方社会保険医療協議会臨時委員の委嘱について

任期満了に伴う推薦依頼で，現委員の濱田副会長が年齢規定のため再任できないことから，後任に小牧常任理事を推薦することが承認された。

13．７/22㈯(名古屋)第13回男女共同参画フォーラム開催について

「今後10年の医療界で男女共同参画は何をめざすか」をメインテーマに開催される会議で，荒木常任理事の出席が承認された。なお男性役員の出席については再度検討することとなった。

14．平成29年度県立学校医等に係る報酬基準額について

県立高等学校，特別支援学校等への学校

医報酬で，基本額，内科管理指導費，検診料等の基準額が承認された。

（報告事項）

１．週間報告について

２．６／９㈮（宮大医学部）宮大医学部６年生対象マッチング＆県内基幹型臨床研修病院合同説明会について

３．６／７㈬（日医）日医医療秘書認定試験委員会について

４．６／８㈭（JA-AZM）社会保険医療担当者（医科）の新規個別指導について

５．６／９㈮（県医）県医師会医学会役員会について

６．６/12㈪（宮観ホテル）病院部会・医療法人部会総会について

７．６/8㈭（県医）県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について

８．６/10㈯（県医）産業医研修会（実地）について

９．６/8㈭（県医）学校医部会理事・評議員会について

医師連盟関係

（議決事項）

１．６/20㈫（宮観ホテル）県議会自民党との地域医療構想に係る意見交換会について

出席者，役割分担，時間配分等の最終確認が行われた。

２．７／８㈯（福岡）九州医連連絡会第26回常任執行委員会の開催について

九医連第364回常任委員会と同日に開催される会議で，九医連同様，報告及び協議事項の取り扱いについては，出席する河野委員長に一任することが承認された。

（報告事項）

１．６/11㈰（MRTmicc）衆議院議員馳浩先生を囲んでの昼食会について

２．６/11㈰（MRTmicc）参議院議員長峯誠政経セミナーについて

平成29年６月27日㈫第８回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．産科医療功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について【再】

締め切りの関係で，事前に河野会長及び濱田副会長が相談し，各郡市医師会及び県産婦人科医会が推薦する者の中から，１医療機関を選定の上，推薦した旨の説明があり，追認することが承認された。

２．本会外の役員等の推薦について

①宮崎県麻薬中毒審査会委員の推薦について
→麻薬の乱用による保健衛生の危害を防止すると共に，公共の福祉の増進を図ることを目的に設置される審査会で，任期満了に伴う推薦依頼があり，再任の方向で現職の意向を確認することが承認された。

②宮崎県高齢者虐待防止連絡会議における委員の推薦について
→高齢者の虐待防止策を総合的に推進することを目的に設置されている委員会で，任期満了に伴う推薦依頼があり，引き続き金丸常任理事を推薦することが承認された。

③平成38年第81回国民体育大会宮崎県準備委員会委員への就任について
→昭和54年以来，２度目の国体開催の内々定を受け，官民一体型で県民総参加型の宮崎らしい大会にすべく設置される準備委員会で，委員及びその中から選定される常任委員に，河野会長が就任することが承認された。

④平成31年度全国高等学校総合体育大会宮崎県準備委員会（宿泊・衛生専門委員会）の委

員の推薦について
→南九州ブロックが担当となり４県(宮崎，熊本，鹿児島，沖縄)で開催される高校総体で，準備委員会の中に設置される宿泊・衛生専門委員会の委員に，山内事務局長を推薦することが承認された。

⑤宮崎県精度管理専門委員の推薦について
→県衛生検査所における検査精度の質的向上を図るために委嘱される委員で，任期満了に伴う推薦依頼があり，引き続き富田副会長を推薦することが承認された。

３．日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会から，医療情報システム協議会の運営委員会の委員に富田副会長を委嘱したいとの依頼があり，本会として了承することが承認された。

４．後援・共催名義等使用許可について

①８/24㈭(シーガイア)民生委員制度創設100周年記念宮崎県民生委員児童委員大会に対する後援名義の使用許可について
→岡山県で創設された済世顧問制度を源とする民生委員制度が，100年の節目を迎えることを記念して開催される大会で，名義後援を行うことが承認された。

②８/27㈰(県歯科医師会館)「九州老年歯科フォーラムin宮崎」への名義後援のお願いについて
→「かかりつけ歯科医機能強化とチーム医療の推進」をテーマに開催される研修会で，名義後援を行うことが承認された。

③９/30㈯(宮崎市民文化ホール)平成29年度第５回宮崎県輸血懇話会における名義後援について
→輸血に携わる医療従事者を対象に，輸血医療及び血液事業の活性化を図ることを目的に開催される懇話会で，名義後援を行うことが承認された。

④11/10㈮(日南市南郷ハートフルセンター)第57回宮崎県精神保健福祉大会の後援について
→県民の心身の健康・保持増進に努めると共に地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に開催される大会で，名義後援を行うことが承認された。

５．会費減免申請について

その他の事由(研修医１年次)16名の減免が承認された。

６．職員の夏季手当支給について

県医師会職員給与規程等に基づき，県人事委員勧告及び諸状況等を参考に，期末・勤勉手当を支給することが承認された。

７．７/13㈭(日南市)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

１医療機関を対象に行われる個別指導で，嶋本理事を立会人として派遣することが承認された。

８．７/20㈭(JA-AZM)新規集団指導の実施について

６医療機関を対象に開催される新規集団指導の後，県医師会主催で県医師会の活動をテーマにした説明会を開催することが承認された。

９．都道府県医師会生活習慣病(糖尿病・COPD等)担当理事連絡協議会の開催について

生活習慣病の現状と課題，特定健診等実施計画期間における制度の見直し等について協議する連絡協議会で，金丸常任理事が出席することが承認された。

10．業務委託について

①平成29年度生活習慣病検診従事者研修事業に係る業務の委託契約について
→特定健康診査・特定保健指導，胃・子宮・肺・乳・大腸がん検診に従事する医療

関係者の資質向上を目的に研修会を実施する事業で，契約を締結することが承認された。

②平成29年度緩和ケア研修事業に係る業務の委託契約について

→緩和医療に携わる医療従事者を対象に，医療連携や在宅を含めた緩和ケア全般を研修内容とした研修会を開催する事業で，委託契約を締結することが承認された。

11. 平成29年度宮崎県認知症疾患医療センター指定医療機関の募集に関する御協力について

現在３か所が指定されているセンターについて，安定的な認知症医療及び適切な認知症ケアを提供できる体制の充実強化を図ることを目的に，センターのない二次医療圏を対象に，指定希望医療機関を募集するもので，郡市医師会等を通じて案内等に協力することが承認された。

12. ７月・８月の行事予定について

７月の追加行事について確認が行われた。

（報告事項）

１．週間報告について

２．６/14㈬（支払基金）支払基金幹事会について

３．６/16㈮（宮大）宮大経営協議会について

４．６/16㈮（宮大）宮大学長選考会議について

５．６/21㈬（県医）県アイバンク協会理事会について

６．６/23㈮（県庁）県総合計画審議会・県地方創生推進懇話会について

７．６/27㈫（県庁）県移植推進財団評議員会について

８．６/17㈯（県医）県医定例代議員会及び総会について

９．６/24㈯（東京）・６/25㈰（日医）九州ブロック日医代議員連絡会及び日医定例代議員会について

10. ６/15㈭（宮崎市）社会保険医療担当者（医科）の個別指導について

11. ６/15㈭・６/21㈬（県医）広報委員会について

12. ６/18㈰（福岡）ｅレジフェアin福岡について

13. ６/24㈯（宮観ホテル）県専門研修合同説明会について

14. ６/26㈪（県医）宮崎市郡医師会予防接種勉強会について

医師連盟関係

（議決事項）

１．７/１㈯（宮崎八幡宮）平成29年度「清山会」臨時総会の開催について

河野委員長が所用により出席できないため，役員で出席を希望する場合には事務局に申し出ることが承認された。

２．７/18㈫（東京）参議院議員自見はなこ次世代の医療政策を考える会について

「医療政策の今日的課題」と題し，日本医師会横倉義武会長を講師に招き開催される会で，九州各県の対応を参考に予算の範囲内で協力すること及び，その対応については河野委員長に一任することが承認された。

３．2017年総会及び「桜井充と明日の医療を語る集い」のご案内について

行事の関係で，役員が対応することが困難なため，今回は協力を見合わせることが承認された。

４．７/28㈮（宮観ホテル）平成30年度国・県に対する要望について【再】（自民党宮崎県支部連合会長・幹事長・政調会長より）

要望の最終確認が行われ，一部修正を行った上で，税制，医師不足対策，有床診療所存続，予防接種体制の整備強化，医師

会立看護師・准看護師養成校への財政支援，国民皆保険の堅持，財源確保，小児時間外診療を提出することとなった。また，ヒアリングには河野委員長及び小牧常任執行委員が出席することが承認された。

５．８/10㈭（宮観ホテル）公明党宮崎本部「政策要望懇談会」のご案内について【再】

要望の最終確認が行われ，自民党宮崎県支部に提出する要望と同じ要望を提出することとなった。また，懇談会については立元常任執行委員が出席することが承認された。

（報告事項）

１．６/17㈯（県医）県医連執行委員会及び国政報告会について

２．６/20㈫（宮観ホテル）地域医療構想に係る意見交換会について

平成29年７月４日㈫第９回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．７/11㈫（宮観ホテル）県医師会と県福祉保健部・病院局との意見交換会等について

県行政主催で開催される意見交換会等で，本会からの提出議題及びスケジュールの最終確認が行われた。

２．後援・共催名義等使用許可について

①７/29㈯第９回全国医師会事務局連絡会研修会の後援及び職員派遣等について
→医師会職員のスキルの向上を図り，事務局業務の効率化等を推し進めることを目的に，今回は「災害時における事務局の役割を考える～“その時” 何ができるのか？備えておくべきことは？～」をテーマに開催される研修会で，名義後援を行うこと及び久永課長が出席することが承認された。

②10/25㈬～27㈮（メディキット県民文化センター）平成29年度健やか親子21全国大会（母子保健家族計画全国大会）の後援について
→母子保健に係る国民運動「健やか親子21」の推進を図るため，毎年都道府県持ち回りで開催する全国大会（母子保健家族計画全国大会）で，名義後援を行うことが承認された。

③11/18㈯・19㈰（宮大）第13回清花祭清武キャンパス医学展の名義後援について
→宮大医学部学生による医学・医療に関する展示発表を行う医学展で，名義後援を行うことが承認された。

④８/11㈮～８/13㈰（宮大他）第60回全国医学生ゼミナールin宮崎へのご後援について
→「患者さんの視点で自身の医療者像を探求する」ことを目的に，全国の医学生・医学系学生が集い，学び，交流する場として毎年持ち回りで開催される会で，名義後援を行うことが承認された。

３．８/11㈮～８/13㈰（宮大他）第60回全国医学生ゼミナールin宮崎への助成金について

名義後援に合わせて，前回開催した群馬県医師会等の対応を参考に助成を行うことが承認された。

４．７/27㈭（JA-AZM）九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

３医療機関を対象に行われる個別指導で，金丸常任理事を立会人として派遣することが承認された。

５．７/27㈭（JA-AZM）九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導等の実施に係る立会について

１医療機関を対象に行われる個別指導で，金丸常任理事を立会人として派遣することが承認された。

６．７/15㈯（東京）MCLS第２回大量殺傷型テロ対策セミナーについて

災害時の初動対応者となることが予想される方を対象として，「多数傷病者への対応標準化トレーニングコース」に位置づけられる研修会で，佐々木（幸）常任理事が出席することが承認された。

７．宮崎県医療計画策定に係る意見照会について

県医療審議会や県議会等の議決を経て，来年３月までに策定される５年毎の医療計画について，県から計画の方針に対する意見照会があったことから，本会役員及び各郡市医師会，専門分科医会，病院部会，精神科病院協会，有床診療所協議会等に案内することが承認された。

８．地域医療介護総合確保基金に係る平成30年度新規事業提案（介護従事者確保分）について

介護業務に関連する人材の確保について，県の計画を策定するために，関係団体等から事業提案を募集するもので，各郡市医師会に照会することが承認された。

（報告事項）

１．６月末日現在の会員数について

２．６/28㈬（日医）日医学術推進会議について

３．６/30㈮（大分）全国有床診療所連絡協議会総会長招宴について

４．６/28㈬（県庁）県歯科保健推進協議会部会について

５．６/29㈭（宮大医学部）地域医療における働きやすい環境を考える会学生向けセミナーについて

６．７/４㈫（県医）治験審査委員会について

７．７/２㈰（大阪）レジナビフェアin大阪について

８．６/29㈭（県医）園医部会理事会について

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	b	b，c	a，b，c	b	d	a	e	c	b

県医の動き

（７月）

1	(大分)全国有床診療所連絡協議会総会(会長他)
2	(大分)全国有床診療所連絡協議会総会(会長他) (大阪)レジナビフェアin大阪(金丸常任理事)
4	治験審査委員会(富田副会長他) 第９回常任理事協議会(会長他)
5	県個人情報保護審議会(濱田副会長)
6	県プライマリ・ケア研究会記録誌編集委員会 (金丸常任理事)
7	県地方独立行政法人評価委員会(会長)
8	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会(金丸常任理事) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会(金丸常任理事) 県外科医会理事・評議員会(岩村理事) 県整形外科医会評議員会(川野理事) 県外科医会総会(岩村理事) 県整形外科医会総会(川野理事) (福岡)九州医師協同組合連合会購買・保険部会(富田理事長他) 労災部会総会(川野理事他) 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会(川野理事他) (福岡)九医連常任委員会(会長) (福岡)九州医連連絡会常任執行委員会 (河野委員長)
9	(福岡)九医連視察(会長)
11	第４回全理事協議会(会長他) 県福祉保健部・病院局との意見交換会(会長他) 県福祉保健部・病院局との懇談会(会長他)
12	支払基金幹事会(会長) 広報委員会(富田副会長他)
13	(日南)社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (嶋本理事) 医師国保組合理事会(秦理事長他) 県糖尿病発症・重症化予防に係る検討会 (金丸常任理事) 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長他)
14	日医勤務医委員会(日医)(金丸常任理事) 宮崎市郡医師会７月例会並びに特別講演会 (会長)
15	(東京)MCLS大量殺傷型テロ対策セミナー (佐々木常任理事) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (石川常任理事)
16	(東京)レジナビフェアin東京(金丸常任理事)
18	医協打合せ会(立元副理事長) 第10回常任理事協議会(会長他)
20	九州ブロック保健所長会総会(会長) みやざき子育てサポートセンターサポート会員養成講座(荒木常任理事他) 県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 (池井常任理事)
20	学術生涯教育委員会(会長他) 新規保険医療機関への説明
21	(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会(峰松理事) 労災部会自賠委員会(川野理事他) 損害保険医療協議会(川野理事他)
22	(愛知)男女共同参画フォーラム (荒木常任理事他) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (石川常任理事) (福岡)九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会
23	(福岡)九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 (石川常任理事)
24	県精神科救急医療システム連絡調整委員会 (吉田常任理事他) 広報委員会(荒木常任理事他) 公衆衛生・感染症/予防接種合同委員会 (会長他)
25	県ドクターヘリ運航調整委員会(米澤理事) 県総合計画審議会・県地方創生推進懇話会 (会長) 県健康長寿社会づくり推進会議(石川常任理事) 医協理事会(富田理事長他) 第11回常任理事協議会(会長他)
26	(日医)日医医療情報システム協議会運営委員会 (富田副会長) 県自殺対策推進協議会(嶋本理事) 労災診療指導委員会(川野理事他)
27	社会保険医療担当者の個別指導(金丸常任理事) 社会保険医療担当者の新規個別指導 (金丸常任理事) 宮大医学部医の倫理委員会(糸数理事) (日医)日医医療IT委員会(荒木常任理事) 医師国保組合通常組合会(秦理事長他)
28	(東京)九州各県アイバンク連絡協議会・全国アイバンク連絡協議会 国保連合会通常総会(秦理事長) 自民党県連国・県に対する要望ヒアリング (会長他) (日医)日医公衆衛生委員会(吉田常任理事)
29	医療メディエーター養成研修会基礎編 (富田理事長他)
30	医療メディエーター養成研修会基礎編 (富田理事長他) (京都)日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会(濱田副会長) 地域包括加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会(日医TV会議) (福岡)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部役員会(金丸常任理事)
31	県がん診療連携協議会(会長)

ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介するコーナーです。

宮崎市
長嶺内科クリニック

長　嶺　和　弘（ながみね　かずひろ）

住　所　宮崎市

専門科目　内科，糖尿病内科，内分泌内科（甲状腺）

略　歴

1997年　日向学院高等学校卒業
2004年　埼玉医科大学卒業
同　年　宮崎大学医学部附属病院卒後臨床研修センターにて初期研修
2006年　宮崎大学内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野入局
2007年　宮崎県立延岡病院神経内科
2009年　宮崎大学内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野医員
2011年　古賀総合病院内科
2015年　宮崎大学内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野助教
2017年　長嶺内科クリニック副院長

趣　味　ハイキング，スポーツ観戦

自己紹介　2017年４月より宮崎市の長嶺内科クリニックにて副院長として勤務をしております。大学卒業後，私の学年から初期研修制度が始まり，宮崎県内の病院にて研鑽を積み，このたび，院長である父と共に地域医療の向上発展に貢献すべく，入会させていただきました。これまでご指導くださった多くの先生方に感謝申し上げます。地域の住民，医療機関の先生方に信頼される存在になりたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の２本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信
目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内等）
対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆会員交流用メーリングリスト
目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供
対象：会員本人のみ

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会　学術広報課
TEL 0985-22-5118

ご 案 内

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ，ご参加いただきますようお願いいたします。

なお，開催案内は９月上旬に全会員（A会員：FAX，B会員：はがき）にお送りいたします。

と　き　平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）
ところ　ハイビスカスゴルフクラブ
宮崎市佐土原町大字下田島 21085-1

（担当　総務課　田﨑）

７月のベストセラー（宮崎県）

集計：2017年７月１日～７月25日

1	君の膵臓をたべたい	住野よる	双葉社
2	うつヌケ	田中圭一	KADOKAWA
3	夢三夜	佐伯泰英	文藝春秋
4	今こそ，韓国に謝ろう	百田尚樹	飛鳥新社
5	多動力	堀江貴文	幻冬舎
6	劇場	又吉直樹	新潮社
7	豆の上で眠る	湊かなえ	新潮社
8	肺炎がいやなら，のどを鍛えなさい	西山耕一郎	飛鳥新社
9	蜜蜂と遠雷	恩田陸	幻冬舎
10	儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇	ケント・ギルバート	講談社

明林堂書店調べ　提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎（0985）56-0868

ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）　平成29年７月13日現在

本会では，会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は，当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。
現在，下記のとおりの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。
お申し込み，お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。
また，宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

１．求職者登録数　３人

１）男性医師求職登録数　３人　（人）

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	1	0	1
老健	2	1	1

２）女性医師求職登録数　０人　（人）

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

２．斡旋成立件数　59人　（人）

	男性医師	女性医師	合計
平成29年度	3	1	4
平成16年度から累計	43	16	59

３．求人登録　95件　334人　（人）

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	117	88	29
外科	31	26	5
整形外科	25	22	3
精神科	18	16	2
循環器科	5	4	1
脳神経外科	12	9	3
消化器内科	12	9	3
麻酔科	10	8	2
眼科	6	5	1
放射線科	10	9	1
小児科	1	0	1
呼吸器内科	11	10	1
リハビリテーション科	5	4	1
総合診療科・内科	7	6	1
神経内科	7	6	1
救命救急科	7	7	0
健診	3	1	2
産婦人科	1	1	0
泌尿器科	1	0	1
検診	4	2	2
皮膚科	3	2	1
人工透析	4	4	0
在宅担当医	1	1	0
その他	33	28	5
合計	334	268	66

求　人　登　録　者（公開）

※求人情報は，申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合，無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は，公開について同意をいただいております。

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医）三晴会　金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外, 整, 放, 麻, 内	10	常勤・非常勤
160017	医）ブレストピア　ブレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外, 放, 内, 麻	3	常勤
160020	財）弘潤会　野崎病院	宮 崎 市	精, 内	2	常勤
160031	社医）同心会　古賀総合病院	宮 崎 市	呼内, 神内, 眼, 総診, 呼外, 病理, 乳外, 整外, 麻	11	常勤
160033	医）如月会　若草病院	宮 崎 市	精	2	常勤
170046	医）社団善仁会　市民の森病院	宮 崎 市	消内, 内泌糖内, 呼内, リウ, 神内, 健診	6	常勤・非常勤
170048	医）慶明会　けいめい記念病院	国 富 町	内, 放, 在宅	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内, 神内, 整, 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	内（緩和）, 消内, 呼内, 総診	8	常勤
190094	医）耕和会　迫田病院	宮 崎 市	総内, 内視鏡	6	常勤・非常勤
190095	医）慶明会　宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医）社団善仁会　宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整, 麻	7	常勤
200105	医）誠友会　南部病院	宮 崎 市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医）幸秀会　大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内, 整, リハ	7	常勤・非常勤
230128	医）真愛会　高宮病院	宮 崎 市	内, 精	2	常勤
230132	医）康友会　青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医）慈光会　宮崎若久病院	宮 崎 市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内, 外	2	常勤
230143	医）社団孝尋会　上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外, 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	総内, 呼内, 消内, 健診	8	常勤・非常勤
230146	財）潤和リハビリテーション振興財団　潤和会記念病院	宮 崎 市	内, 神内, 外, 整, 脳外, リハ, 麻, 救急, 緩和	10	常勤
230148	医）コムロ美容外科	宮 崎 市	美外, 形成外, 外, 麻	8	常勤・非常勤
230161	医）健心会　滝口内科医院	宮 崎 市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮 崎 市	健診	1	非常勤
230171	医）いなほ会　日高医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
230175	社会福祉法人　キャンバスの会	宮 崎 市	内, 小, 整	1	常勤
230177	医）社団尚成会　近間病院	宮 崎 市	内, 消内, 消外, 放（いずれか）	1	常勤・非常勤
230178	介護老人保健施設　むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社）藤元メディカルシステム　藤元中央病院	宮 崎 市	内, 糖内, 呼内, 血内	4	常勤
160008	医）正立会　黒松病院	都 城 市	泌	1	非常勤
160010	特医）敬和会　戸嶋病院	都 城 市	内, 消内, 整, 神内	7	常勤・非常勤
160018	医）宏仁会　メディカルシティ東部病院	都 城 市	内, 救急, 放, 脳外, 外, 眼, 透内, 皮	8	常勤
170057	医）清陵会　隅病院	都 城 市	内, 外, 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	内, 呼内, 総診	4	常勤
180081	医）恵心会　永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内, 呼内	6	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精, 内	3	常勤
230127	医）倫生会　三州病院	都 城 市	外 , 内 , 整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230137	医）宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医）魁成会 宮永病院	都城市	内, リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	内	1	非常勤
230157	医）一誠会 都城新生病院	都城市	精, 内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都城市	内, 透, 循内, 救急, 放, 病理, 呼内, 精	16	常勤
230172	医）静雄会 藤元上町病院	都城市	内	4	常勤・非常勤
230176	一社）藤元メディカルシステムグリーンホーム	三股町	内	1	常勤
230179	医）与州会 柳田クリニック	都城市	外	1	非常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医）恵心会 坂元医院	都城市	消内, 老人内	2	非常勤
160012	医）伸和会 共立病院	延岡市	外, 整, 放, 内	6	常勤
160021	医）建悠会 吉田病院	延岡市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医）健寿会 黒木病院	延岡市	外, 内, 緩和	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延岡市	内	1	常勤
200100	医）育生会 井上病院	延岡市	産婦, 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内, 消外, 内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内, 小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延岡市	内	1	常勤
230156	医）中心会 野村病院	延岡市	内, 外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延岡市	内	1	非常勤
160039	医）誠和会 和田病院	日向市	外, 内, 整, 神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門川町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内, 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内, 整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都農町	内, 放, 外	3	常勤
160023	医）宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内, 腎内, 麻, 総診, 外, 整, 脳外, 眼, 健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高鍋町	内	1	常勤
160024	医）隆徳会 鶴田病院	西都市	内, 外	2	常勤
150002	医）慶明会 おび中央病院	日南市	内, 外, 整	4	常勤・非常勤
150003	医）同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医）愛鍼会 山元病院	日南市	内	2	常勤
160037	医）十善会 県南病院	串間市	精, 内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内, 外, 整, リハ, 在宅	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内, 外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日南市	内	2	常勤・非常勤
230166	医）秀英会 英医院	串間市	内	1	常勤
230168	医）月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230182	串間市市木診療所	串間市	総診, 内(いずれか)	1	常勤
160019	医）相愛会 桑原記念病院	小林市	内, 皮	4	常勤・非常勤
170043	医）和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急, 総診, 放	5	常勤
180076	医）友愛会 園田病院	小林市	外, 循内, 整, 脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医）浩然会 内村病院	小林市	精, 内	3	常勤
190091	医）友愛会 野尻中央病院	小林市	整, 内	4	常勤・非常勤
230155	医）三和会 池田病院	小林市	脳外, 内, 放, 外, リハ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医）連理会 和田クリニック	小林市	内	2	常勤
230173	医）高千穂会 大森内科	小林市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内, 透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内, 整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 29年7月 13日現在

１．譲渡物件	①宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番，2634番 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック
	②西都市中央町２丁目６番地 土地：　2,280.83㎡（691.16坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根３階建 １階　674.74㎡ ２階　547.79㎡　} 1,400.48㎡（424.38坪） ３階　177.95㎡ ※別途駐車場あり（20台）	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
２．譲渡又は賃貸物件	①小林市南西方49番地１ 土地：1,991.34㎡（603.43坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根２階建 １階　471.41㎡ ２階　638.35㎡　} 1,109.76㎡（336.29坪） ※駐車場あり（30台）	所有者：西諸医師会員 （医）社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	②日向市鶴町２丁目９番15号 土地：792㎡（240坪） 建物：RC造　鉄骨造 １階　237.49㎡ ２階　338.25㎡　} 913.99㎡（276.96坪） ３階　338.25㎡ ※別途駐車場あり（10台）	所有者：日向市東臼杵郡医師会員 三ヶ尻整形外科跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

１．取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
２．紹介受付は，月～金の９時～12時及び13時～17時です。
３．申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
４．ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
５．求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
６．斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先　**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原１丁目 101番地（宮崎県医師協同組合）
TEL 0985-23-9100㈹・FAX 0985-23-9179
E-mail：isikyou@ miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E－Mail：genko@miyazaki.med.or.jp

FAX：0985-27-6550

TEL：0985-22-5118

きりとりせん

日州医事では，読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や，読みたい記事のご提案など，忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお，いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は，このページを切り取り，

裏面の用紙をご利用ください。

宮崎県医師会広報委員会 行　FAX: 0985-27-6550

お名前：

ご所属：

ＴＥＬ：　ＦＡＸ：

きりとりせん

宮崎県医師会行事予定表

平成29年７月25日

８　月

1	火	18：00 19：00	治験審査委員会 第12回常任理事協議会
2	水	13：30	(日医)都道府県医師会生活習慣病担当理事連絡協議会
3	木	19：00 19：30	広報委員会 県産婦人科医会全理事会
4	金		
5	土	13：00 15：00 16：00 17：00 18：00	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 九州学校検診協議会専門委員会 九医連常任委員会 九州学校検診協議会幹事会 九州各県学校保健担当理事者会
6	日	９：00 11：30 14：00	九州ブロック学校保健・学校医大会・九州学校検診協議会 九医連学校医会評議員会・総会 宮崎から医師をめざそう！フォーラム
7	月		
8	火	14：00 19：00	医療勤務環境改善支援センターアドバイザー研修会 第13回常任理事協議会
9	水	16：00 19：00	支払基金幹事会 県内科医会医療保険委員会
10	木	13：00	県認知症疾患医療センター選考委員会 公明党県本部政策要望懇談会
11	金		(山の日)
12	土	13：30 16：00	県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会 九州医師協同組合連合会総務部会
13	日		
14	月	19：00	地域医療構想調整会議の進め方に関する協議会
15	火		
16	水		

医家芸術展

16	水		
17	木	19：00 19：00 19：30	勤務医委員会 医師国保組合理事会 性暴力被害者支援連絡協議会に係る県産婦人科医会と県との事前協議会
18	金	９：00 18：30 19：00	職員採用試験(一次) 県外科医会夏期講演会 県内科医会理事会
19	土	14：10 14：30 15：00 15：30 16：00	中四九地区医師会看護学校協議会 産業医研修会(前期) 学校医部会総会・医学会(TV会議) 九州地区医師国保組合連合会理事会 九州地区医師国保組合連合会全体協議会
20	日	８：50	中四九地区医師会看護学校協議会
21	月	19：00	県内科医会誌編集委員会
22	火	18：30 終了後 19：00	第５回全理事協議会 医協理事・運営委員合同協議会 役職員懇談会
23	水	15：00	性暴力被害者支援連絡協議会
24	木		
25	金	13：30 19：00 19：00	保育事業養成講座 広報委員会 認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議)
26	土	14：00 15：00 16：00 17：00 18：10	在宅医療協議会役員会 在宅医療協議会総会・研修会 九医連常任委員会 九医連定例委員総会 九州医連連絡会執行委員会
27	日		
28	月	19：00	損保ジャパン日本興亜との懇談会
29	火	18：15 19：00	医協理事会 第14回常任理事協議会
30	水	14：00 15：00	(日医)日医学術推進会議 労災診療指導委員会
31	木	15：00	(日医)日医医療情報システム協議会運営委員会

国保審査

社保審査

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮崎県医師会行事予定表

平成29年７月25日

９　月

1	金	18：00	医療勤務環境改善セミナー
2	土	15：30	九州医師協同組合連合会理事会 全国医師会立共同利用施設連絡協議会 全国国保組合協会九州支部総会 県医師会医学会
3	日		全国医師会立共同利用施設連絡協議会
4	月		
5	火	18：00 19：00	治験審査委員会 第15回常任理事協議会
6	水	14：00	(日医)日医救急災害医療対策委員会
7	木	18：30	日本整形外科スポーツ医学会学術集会晩餐会
8	金	19：00	医学会誌編集委員会
9	土	13：00 15：00 15：30	保育支援事業スキルアップ研修会/全体顔合わせ会 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 県産婦人科医会秋期総会
10	日	９：30 10：00	医師クラーク育成・スキルアップ研修会 職員採用試験(二次)
11	月	13：30	県立病院事業評価委員会
12	火	19：00	第６回全理事協議会
13	水	16：00	支払基金幹事会
14	木	19：00 19：30	広報委員会 県産婦人科医会常任理事会
15	金	15：00	(日医)日医医療秘書認定試験委員会
16	土	14：30 15：00	九州ブロック産婦人科医会会長会議 産業医研修会(前期) 園医部会総会・研修会(TV会議)
17	日		
18	月		(敬老の日)
19	火	15：00 19：00	(日医)都道府県医師会長協議会 第16回常任理事協議会
20	水		
21	木	15：00	(日医)日医医療IT委員会
22	金	19：00	広報委員会
23	土	9：00 15：00	(秋分の日) 医療メディエーター養成研修会基礎編 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会・運営委員会
24	日	9：00	医療メディエーター養成研修会基礎編
25	月		
26	火	19：00 19：00	宮大医学部５年生未来の医療を語り合う全員交流会 第17回常任理事協議会
27	水	15：00	労災診療指導委員会
28	木	13：00	(日医)産業保健活動推進全国会議
29	金	14：00 15：00	(日医)大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会 (日医)日医医療情報システム協議会運営委員会
30	土	16：00	県有床診療所協議会総会・講演会

国保審査

社保審査

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

お知らせ

平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では，日本医師会認定医療秘書養成を県内３教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し，医療事務に必要な知識，最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに，医療機関の今日的な使命を自覚し，誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度，医療事務職員採用のご予定がございましたら，何卒，県内３教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお，求職に関するお問い合わせ等につきましては，直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 （宮崎市）	宮崎医療管理専門学校 （宮崎市）	都城コアカレッジ （都城市）
就職希望者 19名 （女 19名）	就職希望者 20名 （男３名，女 17名）	就職希望者２名 （女２名）
連絡先：TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当：田村　広美 武村　順子	連絡先：TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当：福元　　進 鬼束　咲子	連絡先：TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：吉原真由美 中山さおり

医療勤務環境改善支援センターを

医　学　会・講　演　会
日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，ＣＣ：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）
がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業医研修会 ８月３日㈭ 19：00～21：00 県医師会館	**長時間労働者の面接指導** 産業保健相談員 宮崎県立看護大学教授　江藤　敏治 生涯研修の専門研修会：２単位	1（0.5） 5（0.5） 11（0.5） 12（0.5）	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県上気道免疫療法研究会 ８月３日㈭ 19：00～20：30 宮崎観光ホテル 参加費：1,000円	**耳鼻咽喉科免疫関連疾患のパラダイムシフト** **－鼻アレルギーを中心に－** 東北医科薬科大学医学部耳鼻咽喉科教室教授 太田　伸男	39（1.0）	◇主催 宮崎県上気道免疫療法研究会 ◇共催 ※鳥居薬品㈱ ☎096-359-5485 ◇後援 日本耳鼻咽喉科学会宮崎県地方会 宮崎県耳鼻咽喉科医会
延岡医学会学術講演会 ８月４日㈮ 19：00～20：40 ホテルメリージュ延岡	**病歴から診る小児てんかんと最新治験：SUDEP，新規抗てんかん薬など** 大分大学医学部小児科学講座　岡成　和夫	9（0.5）	◇主催 延岡医学会 ◇共催 エーザイ㈱ （連絡先） 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	てんかんの最新知見－外科治療を中心に－ 大分大学福祉健康科学部教授　上田　徹	32（0.5） 35（0.5）	

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
県北産婦人科医会 **（８月度例会）** ８月４日㈮ 19：00 ～20：00 ホテルメリージュ延岡	**子宮内膜症と不妊治療－最近の話題と研究の最前線－** 福岡大学医学部産婦人科講師　四元　房典	0 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 県北産婦人科医会 ◇共催 ※持田製薬㈱ ☎0985-23-3130
第28回宮崎リウマチ医の会 ８月５日㈯ 15：00 ～18：10 MRT-micc 参加費：1,000円	**メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の基礎と臨床** 埼玉医科大学総合医療センター血液内科教授 得平　道英	19 (0.5) 22 (0.5)	◇主催 宮崎リウマチ医の会 ◇共催 ※旭化成ファーマ㈱ ☎0985-28-2736
	薬物療法の進歩の速さに負けない，リウマチ関節外科治療の進歩のために考えること 大阪南医療センター免疫疾患センター部長 橋本　淳	25 (0.5) 28 (0.5)	
	自己炎症症候群とリウマチ・膠原病疾患との接点 久留米大学医学部呼吸器・神経・膠原病内科教授 井田　弘明	61 (0.5) 73 (0.5)	
宮崎ロコモフォーラム－健康寿命の延伸を目指して－ ８月７日㈪ 19：00 ～20：10 MRT-micc	**ロコモを取り巻く環境** **－ロコモ・サルコペニア・フレイルと疼痛－** 宮崎大学医学部整形外科教授　帖佐　悦男	10 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 ※ファイザー㈱ 092-281-7031 アステラス製薬㈱

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
南那珂医師会生涯教育医学会 ８月９日㈬ 18：45～20：10 南那珂医師会館	**CKDにおける最近の話題と治療** 宮崎大学医学部血液・血管先端医療学講座教授 藤元　昭一	73 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 中外製薬㈱
宮崎県医師会産業医研修会 ８月９日㈬ 19：00～21：00 県医師会館	**事例でみる職場巡視のポイント** 産業保健相談員　谷山　ゆかり 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第３回地域連携で心不全を考える会 ８月10日㈭ 18：45～20：30 宮崎観光ホテル	**心不全トータルマネージメント** **－広範心筋梗塞患者の実態－** 宮崎市郡医師会病院循環器内科医長　松浦　広英	9 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119 ◇共催 大塚製薬㈱
	心不全診療Update－ガイドラインに学ぶ－ 九州大学医学研究院循環器内科学教授 筒井　裕之	15 (1.0)	
第71回都城心臓血管懇話会 ８月10日㈭ 19：00～20：30 ホテル中山荘	**２型糖尿病を進行させないために必要なこと** 坂出市立病院糖尿病内科部長　大工原　裕之	1 (0.5) 74 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 都城心臓血管懇話会 ◇共催 第一三共㈱ (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
平成29年度宮崎県プライマリ・ケア研究会総会・研修会 ８月12日㈯ 14：00 ～16：30 県医師会館	**自分たちの地域で多職種連携研修会を仕掛けるコツ** 宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授 吉村　学	10 (0.5) 12 (0.5) 13 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県Ｃ型肝炎セミナー ８月17日㈭ 19：00 ～20：45 ホテルJALシティ宮崎	**当院における慢性肝疾患治療の現状から今後を考える** 宮崎医療センター病院副院長 消化器・肝臓病センター長　宇都　浩文	1 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ギリアド・サイエンシズ㈱ ☎070-2162-5866
	Ｃ型肝炎の撲滅とＢ型肝炎の安全な治療を求めて 久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門准教授　井出　達也	19 (0.5) 73 (0.5)	
平成29年度宮崎県外科医会夏期講演会(日本臨床外科学会地方会) ８月18日㈮ 18：30 ～20：30 県医師会館	**会員発表：食道胃接合部粘膜下腫瘍に対する胃内手術の１例** 潤和会記念病院外科　長友　俊郎 **他**	15 (1.5)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
宮崎県医師会産業医研修会 ８月19日㈯ 14：30 ～18：30 県医師会館	**産業医活動の実際について** 宮崎県立看護大学教授　江藤　敏治 基礎研修の前期研修会：２単位	1 (0.5) 4 (0.5) 10 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	健康管理について 西都病院　植田　勇人 基礎研修の前期研修会：２単位	0 (0.5) 2 (0.5) 7 (0.5) 70 (0.5)	
平成29年度宮崎県医師会学校医部会総会・医学会 ８月19日㈯ 15：00 ～17：30 県医師会館	**子どものがんの過去，現在，そして未来** 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野教授　盛武　浩	11 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	先制医療としての小児生活習慣病予防健診 高岡ふしき病院小児科部長　宮崎　あゆみ	23 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 ８月22日㈫ 14：30 ～16：30 県医師会館	**作業環境関連疾患（腰痛・VDT障害）の予防と悪化防止** 産業保健相談員 宮崎県立看護大学教授　江藤　敏治 生涯研修の専門研修会：２単位	11 (0.5) 12 (0.5) 37 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
宮崎市郡内科医会学術講演会 ８月22日㈫ 19：10 ～20：10 宮崎観光ホテル	**難治性呼吸器疾患の診断と治療** **－特発性肺線維症とCOPDを中心として－** 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野助教　松元　信弘	45 (0.5) 46 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 日本ベーリンガーインゲルハイム㈱ (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第118回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ８月23日㈬ 18：50 ～20：20 宮崎観光ホテル	**虚血性心疾患における抗血栓療法Up to Date** 千葉大学医学研究院循環器内科学教授 小林　欣夫	9 (1.0)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 日本ベーリンガーインゲルハイム㈱ (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
宮崎県医師会産業医研修会 ８月24日㈭ 14：00 ～16：00 県医師会館	**メンタルヘルス－事例検討会－** 産業保健相談員・都城新生病院　前原　正法 生涯研修の専門研修会：２単位	5 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
認知症サポート医フォローアップ研修会(TV会議) ８月25日㈮ 19：00 ～21：00 県医師会館(TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸，西臼杵)	**経済的虐待が疑われた１症例** 野崎病院認知症疾患医療センター長 宇田川　充隆	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	軽度認知機能低下(MCI)の１例 協和病院認知症疾患医療センター長　二宮　嘉正	29 (0.5)	

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
認知症サポート医フォローアップ研修会（TV会議） ８月25日㈮ 19：00～21：00 県医師会館（TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸，西臼杵）	**脱抑制行動がめだち対応に苦慮した前頭側頭型認知症の１剖検例** 大悟病院認知症疾患医療センター長　三山　吉夫	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	総合討論 野崎病院認知症疾患医療センター長 宇田川　充隆 他	29 (0.5)	
宮崎県臨床整形外科医会学術講演会 ８月25日㈮ 19：15～20：30 宮崎観光ホテル 参加費：1,000円	**痛みに対する実践的薬物治療戦略** 東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部准教授 住谷　昌彦	60 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎県臨床整形外科医会 ◇共催 ※ファイザー㈱ ☎092-281-7031
宮崎小児感染症研究会 ８月31日㈭ 19：00～20：40 宮崎観光ホテル	**血液疾患に隠れていたサイトメガロウイルス感染症** 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野教授　盛武　浩	8 (1.0)	◇主催 宮崎小児感染症研究会 ◇共催 宮崎県小児科医会 宮崎県耳鼻咽喉科医会 宮崎県臨床衛生検査技師会 ※Meiji Seikaファルマ㈱ ☎0985-25-6215

名称・日時・場所	演　題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医療勤務環境改善セミナー ９月１日㈮ 18：00～19：50 県医師会館	**勤務環境改善は医療・介護から** 日本医業経営コンサルタント協会福岡支部・理事 水上　朝雄	6 (0.5)	◇主催 宮崎県医療勤務環境改善支援センター (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	医療の勤務環境改善は、病院の経営戦略 医療法人聖ルチア会理事長 聖ルチア病院長　大治　太郎	7 (1.0)	
江南医療連携の会特別講演会 ９月２日㈯ 15：00～17：30 宮日会館	**宮崎江南病院整形外科の役割** 宮崎江南病院整形外科医長　甲斐　糸乃	1 (0.5)	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院地域医療連携室 ☎0985-52-4004
	スポーツドクターの役割 宮崎大学医学部附属病院整形外科助教 山口　奈美	1 (1.0)	
第20回宮崎神経眼科セミナー ９月２日㈯ 18：00～21：00 KITEN 参加費：2,000円	**視力の計算のしかた** 愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座教授 柏井　聡	12 (0.5) 15 (0.5)	◇主催 宮崎神経眼科ネットワーク ◇共催 参天製薬㈱ (連絡先) 尾﨑眼科 ☎0982-52-5600
	視覚の基本メカニズム 愛知淑徳大学健康医療科学部視覚科学講座教授 柏井　聡	19 (0.5) 36 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 ９月７日㈭ 14：30～16：30 県医師会館	**企業における受動喫煙防止対策** 産業保健相談員 宮崎県立看護大学教授　江藤　敏治 生涯研修の専門研修会：２単位	9 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演　　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 ９月８日㈮ ８：20～18：20 ９月９日㈯ ９：10～16：30 シーガイアコンベンションセンター 参加費：1,000円	（１日目　８：30～９：30） **オリンピックとスポーツ医・科学** 前国立スポーツ科学センター長　川原　貴	1 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 ◇共催 三笠製薬㈱ オリンパス テルモ バイオマテリアル㈱ 大正富山医薬品㈱ （連絡先） ㈱コングレ九州支社 ☎092-716-7116
	（１日目　８：30～９：30） **スポーツ参加と変形性関節症** 京都大学整形外科教授　松田　秀一	61 (0.5) 73 (0.5)	
	（１日目　11：20～12：20） Topic1：Highlight in the evolution of ACL surgery：Remnant preserved versus Non-remnant ACL Reconstruction Using Achilles Allograft Topic2：Arthroscopic Assisted Simultaneously ACL and PCL Reconstruction in Knee Dislocation KOSSM President/Wonkwang University Hospital, Korea Churl Hong Chun	61 (0.5) 62 (0.5)	
	（１日目　12：30～13：30） **障害者の運動生理学上の特質** **－健康寿命延伸のための運動指導でも応用出来る知見－** 和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座教授 みらい医療推進センター スポーツ・温泉医学研究所　田島　文博	10 (0.5) 13 (0.5)	
	（１日目　12：30～13：30） **膝関節スポーツ外傷に起因する軟骨障害と骨切り術** 東京女子医科大学整形外科教授　岡崎　賢	61 (0.5) 62 (0.5)	

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 ９月８日㈮ ８：20～18：20 ９月９日㈯ ９：10～16：30 シーガイアコンベンションセンター 参加費：1,000円	（１日目　12：30～13：30） **スポーツに伴う関節軟骨傷害の病態と治療** 島根大学医学部整形外科学教授　内尾　祐司	11 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 ◇共催 三笠製薬㈱ オリンパス テルモ バイオマテリアル㈱ 大正富山医薬品㈱ （連絡先） ㈱コングレ九州支社 ☎092-716-7116
	（１日目　12：30～13：30） **アスリートの手関節，手指外傷と障害** **－競技特性や選手の環境に配慮した治療，復帰支援－** 中日新聞社健康保険組合中日病院副院長 中尾　悦宏	61 (0.5) 63 (0.5)	
	（１日目　16：30～17：30） The Approach to the Complex Knee：Alignment, Cartilage and Meniscus AJSM Editor/The University of New Mexico, USA Daniel C. Wascher	15 (0.5) 61 (0.5)	
	（２日目　12：30～13：30） **スポーツ愛好者における脊椎疾患の手術タイミング** **－抗凝固薬休薬も含めてのインフォームドコンセント－** 地域医療機能推進機構大阪病院副院長 冨士　武史	59 (0.5) 60 (0.5)	
	（２日目　12：30～13：30） **ラガーマンの膝スポーツ外傷** 大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科 教授　堀部　秀二	61 (0.5) 62 (0.5)	
	（２日目　12：30～13：30） **スポーツ外傷・障害におけるPRP療法の基礎と実践** **－病態に応じたPRPの使い分けの時代へ－** 順天堂大学整形外科・スポーツ診療科助教 FIFA Medical Centre of Excellence Tokyo　齋田　良知	2 (0.5) 4 (0.5)	

名称・日時・場所	演　題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 ９月８日㈮ ８：20～18：20 ９月９日㈯ ９：10～16：30 シーガイアコンベンションセンター 参加費：1,000円	（２日目　12：30～13：30） **自家腱ハイブリッド代用材料を用いた膝靭帯再建術：基礎と臨床** 北海道大学医学研究院 スポーツ先端治療開発医学分野教授　近藤　英司	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 ◇共催 三笠製薬㈱ オリンパス テルモ バイオマテリアル㈱ 大正富山医薬品㈱ （連絡先） ㈱コングレ九州支社 ☎092-716-7116
	（２日目　12：30～13：30） **動的不安定性を指標とした変形性膝関節症の保存的治療提案** 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻准教授 青山　朋樹	61 (0.5) 62 (0.5)	
	（２日目　13：40～14：40） **脊椎領域におけるスポーツ医学の最近の話題** 筑波大学医学医療系整形外科教授　山崎　正志	19 (0.5) 60 (0.5)	
	（２日目　13：40～14：40） The Paralympic Athlete －Common Performance Issues－ Loughborough University, UK　Vicky Goosey-Tolfrey	13 (0.5) 19 (0.5)	
	（２日目　13：40～14：40） **整形外科日常診療に役に立つ超音波検査** 宮崎県立日南病院整形外科医長　福田　一	7 (0.5) 61 (0.5)	
	（２日目　14：50～15：50） **新たな解剖学的知見からみた足部スポーツ障害の診断と治療** 聖マリアンナ医科大学整形外科学講座教授 仁木　久照	62 (0.5) 63 (0.5)	

名称・日時・場所	演　題	CC(単位)がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第210回宮崎県泌尿器科医会 ９月14日㈭ 19：00～20：30 宮崎観光ホテル	**宮崎大学におけるオプジーボの使用経験** 宮崎大学医学部泌尿器科助教　髙森　大樹	9 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 (宮崎大学医学部泌尿器科内) ☎0985-85-2968 ◇共催 小野薬品工業㈱ ブリストルマイヤーズスクイブ㈱
	腎細胞癌の新たな治療戦略－免疫チェックポイント阻害剤の登場でどう変わるのか－ 近畿大学医学部泌尿器科学教室主任教授 植村　天受	9 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 ９月16日㈯ 14：30～17：30 県医師会館	**健康保持増進のススメ** 宮崎大学安全衛生保健センター教授 武田　龍一郎 基礎研修の前期研修会：１単位	11 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	作業環境管理について 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター長 鈴木　斎王 基礎研修の前期研修会：２単位	0 (0.5) 1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 ９月20日㈬ 19：00～21：00 県医師会館	**有害物のリスクアセスメントについて** 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント　下津　義博 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演　　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
佐土原地区医師会学術講演会 ９月21日㈭ 19：00 ～20：15 シーガイアコンベンションセンター	**糖尿病患者のトータルリスクマネージメント** 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野助教　上野　浩晶	76 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※アステラス製薬㈱ ☎0985-61-1537 MSD㈱
宮崎県医師会産業医研修会 ９月26日㈫ 19：00 ～21：00 延岡市医師会病院	**有害物のリスクアセスメントについて** 産業保健相談員・労働衛生コンサルタント 下津　義博 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 ９月29日㈮ 19：00 ～21：00 都城市北諸県郡医師会館	**職場における糖尿病対策** 産業保健相談員・都城市郡医師会病院副院長 中津留　邦展 生涯研修の専門研修会：２単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
平成29年度宮崎県有床診療所協議会総会・講演会 ９月30日㈯ 16：00 ～18：00 県医師会館	**これからの有床診療所の役割（仮）** 全国有床診療所連絡協議会長　鹿子生　健一	12 (1.0)	◇主催 宮崎県有床診療所協議会 （連絡先） 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
第13回みやざきホスピス・緩和ケアネットワーク学術集会／第25回都城緩和ケア研究会 ９月30日㈯ 12：50 ～16：30 都城市ウェルネス交流プラザ 参加費：500円	**地域におけるアドバンス・ケア・プランニング** 国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部 西川　満則	4 (1.5)	◇主催 ※都城緩和ケア研究会 （三州病院内） ☎0986-22-0230 ◇共催 みやざきホスピス・緩和ケアネットワーク 塩野義製薬㈱ ◇後援 宮崎県 都城市 宮崎県医師会 宮崎県介護支援専門員協会 他
	症例検討会：多発骨転移のある維持透析患者に対し，疼痛コントロールを図った１事例 宮崎江南病院　山口　美優 **他**	81 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 10月６日㈮ 19：00 ～21：00 都城市北諸県郡医師会館	**有害物のリスクアセスメントについて** 産業保健相談員・労働衛生コンサルタント 下津　義博 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第25回宮崎県警察医会総会・特別講演会 10月７日㈯ 15：30 ～17：00 県医師会館	**自動車事故に特徴的な損傷とその形成メカニズムについて** 鹿児島大学医歯学総合研究科法医学分野教授 小片　守	1 (0.5) 57 (1.0)	◇主催 ※宮崎県警察医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演　　題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ ＝ 連 絡 先
宮崎県医師会産業医研修会 10月12日㈭ 19：00 ～21：00 県医師会館	**健康診断結果に基づく検討　事後措置の事例検討** 産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授 江藤　敏治 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (0.5) 8 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第57回宮崎県スポーツ学会 10月14日㈯ 14：50 ～19：00 宮日会館 参加費：1,000円	**皮膚テーピングと身体運動** 文京学院大学保健医療科学研究科教授　福井　勉	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬㈱ ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科学教室 ☎0985-85-0986
	新しいかたちの運動器スポーツ障害治療 **－チーム医療とメディカルフィットネスの活用－** 早稲田大学スポーツ科学術院教授　熊井　司	10 (0.5) 12 (0.5)	
	発育期のスポーツとその功罪 中部大学生命健康科学部 スポーツ保健医療学科教授　馬場　礼三	11 (0.5) 72 (0.5)	

診療メモ

学校医が行う運動器検診

たかむら小児クリニック　髙村一志（たかむら かずし）

学校保健安全法施行規則の一部改正が平成28年度から施行され，新しく学校医が運動器検診を行うことになりました。脊柱側彎症について注意することについて定めた省令は昭和33年に発令していましたが，今回の改正で，

①腰を曲げたり，反らしたりすると痛みがある。
②腕，脚を動かすと痛みがある。
③腕，脚に動きの悪いところがある。
④片足立ちが５秒以上できない。
⑤しゃがみ込みができない。

の５項目を診ることが追加されました。大きな変更，追加でしたので，宮崎県医師会としては，宮崎大学医学部整形外科帖佐悦男教授，宮崎県教育庁スポーツ振興課，宮崎市教育委員会，宮崎市郡医師会学校医会と協議し，平成28年３月14日，県医師会館と各郡市医師会とをテレビ会議システムで結び，県内の学校医を対象に学校健診についての研修会を開催するとともに，平成28年８月20日にも学校医部会医学会で帖佐教授による講演を開催し理解を求めました。

帖佐教授の教室では，平成19年度から運動器検診のモデル事業を行っています。一部学校医も参加していましたが，ほとんどが大学の整形外科の医師と理学療法士，健康スポーツナースが行ったものです。検診の内容は今回の運動器検診とは少し異なりますが，このモデル事業では一次検診から二次検診にピックアップしたものは12.1％～15.7％でした。ところが，学校医による運動器検診が始まった平成28年度の検診では，学校医が整形外科専門医等の受診を勧めた割合は3.2％という低い値でした。平成28年秋に開催された九州学校検診協議会運動器検診協議での九州各県の報告では0.9％～4.14％とばらつきが見られ，モデル事業と比較して各県とも低い値がみられていました。

このことから運動器検診の２年目となった今年度の始めに，帖佐教授，県教育庁スポーツ振興課，県医師会で再び協議を行い，帖佐教授に「運動器検診での異常のとらえ方(図)」について，学校医にわかりやすく図解入りで解説していただきました。

総論として，

・歩行異常
・痛み(動作時，安静時)
・シビレ(動作時，安静時)
・筋力低下(力が入らない)
・明らかに動作がおかしい
・明らかな左右差
・明らかな変形
・明らかな関節の不安定感
・局所の腫脹・熱感・圧痛

は，始めに押さえておくポイントです。

各論については図を参照してください。※斜字で記してあるのが追加されたポイントです。

今回の運動器検診では，家庭でのチェックと学校における観察でチェックされた児を重点的に学校医が診ることとしています。本来ならばモデル事業で行われたように，すべての児に時

間をかけ診なければ検診にはならないのかもしれません。しかしながら，学校医が限られた時間の中で運動器検診を行うことから今回のようなスキームとなりました。

また，運動器検診も，眼科検診，耳鼻科検診のように整形外科が行った方が良いという議論が日医，厚労省でもありましたが，運動器検診を早期に始めるという観点から内科学校医が行うということになったと理解しています。健診に割く時間が増え，仕事量が増えることから当然，学校医の報酬の増額を考えたいところです。これらのことは昨年度から新たに始まった九州学校検診協議会運動器検診協議で今後議論が深められることになります。

学校医が行う運動器検診が適正かつ円滑に実施され，一定の評価が得られるには数年の時間が必要と思われます。健診は診断をつける場ではありません。異常かなと迷った場合には専門医受診を勧めてください。今後とも学校医の仕事にご理解とご協力をお願いします。

図　学校健診における運動器検診での異常のとらえ方

各論：

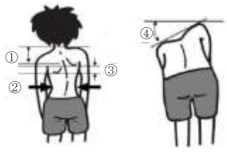
1）歩容異常

※原則異常とします

2）側弯

⑴脊柱の状態についてお聞きします。

姿勢のチェック
（下の4か所をチェックしてください）



□①両肩の高さに差がある
□②ウエストライン（腰の脇線）の曲がり方に差がある
□③両肩甲骨の高さ・位置に差がある
□④前屈（前にかがむ）したときに左右の背面の高さに差がある

※体操着などの着衣のままでもわかる①や④の異常

3）脊柱の状態：腰椎

①腰を前に曲げたり，後ろにそらしたりしたときに痛みはありませんか？

【前に曲げたとき】
□痛くない　□痛い
【後ろにそらしたとき】
□痛くない　□痛い

※前後屈させた際に，明らかな痛みを訴えたり，可動域制限

4）四肢の状態：肩肘

②手のひらを上に向けて腕（ひじ）を曲げた時，手指が肩につきますか。

右腕　□つく　□つかない
左腕　□つく　□つかない

③手のひらを上に向けて腕（ひじ）を伸ばした時，ひじがのびますか。

右腕　□のびる　□のびない
左腕　□のびる　□のびない

④バンザイをして腕が耳につきますか。

右腕　□つく　□つかない
左腕　□つく　□つかない

※肘の曲げ伸ばしをさせて，明らかな疼痛，可動域（動き）の左右差特に動きの最初と最後に注意する。肩を挙上させて，腕が耳につかない。上に挙がらない。

5）四肢の状態　：下肢

⑤脚を動かす（しゃがんだり立ったりする）とき痛みや動きの悪いところはありませんか？

【脚の痛み】
□痛くない　□痛い
痛い場所

□
□
□

6）片脚立ち

⑥片脚立ちが両足とも５秒以上できますか？

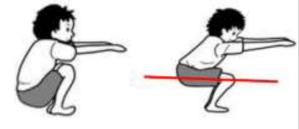
【右片脚立ち】
□できる　□できない

【左片脚立ち】
□できる　□できない

※５秒以上の片脚立ちができない

7）しゃがみ込み

⑦かかとをつけたまましゃがみこみができますか？



□しゃがめる（かかとをつけたまま）

□痛くないのにしゃがめない。後ろにころぶ

□痛くてしゃがめない

※疾患など：疼痛や極端な筋力低下・バランス力低下によりしゃがめない。
機能不全：疼痛もないのにしゃがもうとすると後ろに転倒する。
しゃがみ込み最後の段階での転倒：養護や体育教諭からのストレッチングの指導。図のように大腿が床と並行または膝が90度しか曲がっていないのに転倒する。

宮大医学部学生のページ

第14回　宮崎大学医学部音楽祭

宮崎大学医学部医学科４学年　新居聖佳（あらいみか）

音楽には，人の心を癒し，感動をあたえ，奮い立たせる力がある，ということを，皆様体感されたことがあるのではないかと存じます。そんな音楽を通じて地域の皆様と交流したい，という想いから始まった宮崎大学医学部音楽祭は，音楽系の部活・サークルに所属している医学部生を中心に，学生自らが企画運営する音楽祭として歴史を重ねてまいりました。６月10日に行われました今年度の音楽祭は，宮崎医科大学が宮崎大学に統合されてから本年で14回目，宮崎医科大学時代から数えると通算36回目の開催となりました。こうして本音楽祭を続けてくることができたのも，地域の皆様の暖かいご支援と，関係者の皆様のご協力の賜物であり，この場をお借りいたしまして心より感謝申し上げます。

第14回宮崎大学医学部音楽祭は，室内楽部，管打楽器部，合唱部，軽音楽部，アカペラサークル，篠懸太鼓部といった部活動団体の他，ピアノ独奏，ギター独奏，ヴァイオリン・ピアノデュオ，歌とピアノなど，個人の出演者の積極的な参加もあり，様々な音色を楽しむことのできる大変充実した演奏会となりました。また，本年の新たな試みとして，室内楽部，管打楽器部，合唱部を中心とした有志の出演者によるオーケストラ・合唱団を編成し，プログラムの最後に盛り込みました。普段は別々に活動している出演者がひとつの場所に集まり練習することは想像以上に大変で，当日まで細かな調整が続きましたが，本番では皆が一体となり，楽しんで演奏することができました。このようにして作り上げてきた演奏はお客様からもご好評をいただくことができ，滅多に組み合わさることのない，貴重な音色のハーモニーをお楽しみいただけたのではないかと感じております。

さらに本年の新たな試みとして，演奏間の舞台設置中に，小演奏や出演者のMCを企画いたしました。こちらもご好評をいただき，大変嬉しく思っております。

また，本年はご高齢のお客様やご家族でいらっしゃって下さるお客様，お子様にもお越しいただきやすい開演時間を目指し，従来の開演時間より１時間30分早めた16時半からの開催とさせていただきました。この変更のために，当

日のリハーサルや準備の計画を見直し，実行委員と出演者との全員が協力して運営に携わりました。運営における反省点は多々ありますが，この開演時間の見直しの効果もあってか，多くのお客様にご来場いただき，ご意見も沢山いただくことができました。大変ありがたく思います。

第14回宮崎大学医学部音楽祭が成功に終わりましたことに感謝し，また本年度の反省を活かし，来年度以降も精一杯頑張りますので，今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ

宮崎県医師会では，県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師（医師会員でなくても可）のお子様を対象に本会館１階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は，事前の予約が必要となりますので，ご希望の方は開催日の２週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先
宮崎県医師会
TEL　0985-22-5118
FAX　0985-27-6550
担当　畠中・久永

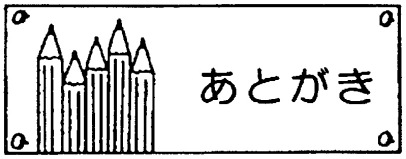
お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては，会員専用ページをご覧いただくか，所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名，パスワードが必要ですので，県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL0985-22-5118)。

また，MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので，まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文　書　名
５月30日	・「第２回診療所の在宅医療機能に関する調査」の実施とご協力のお願い ・特定医療費(指定難病)受給者に対する償還支払事務の遅滞について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
５月31日	・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№126」の提供について ・テリボン皮下注用56.5μg，ザーコリカプセル200mg及び250mgの効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について
６月１日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その11)」の送付について
６月２日	・平成29年度文部科学省補助事業『喫煙，飲酒，薬物乱用防止に関する指導参考資料』研修会の開催について ・院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)に係る参加医療機関の追加募集について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・「年金受給資格期間短縮に伴う対応について」の送付について
６月５日	・被爆者健康手帳の無効について
６月６日	・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について
６月８日	・被爆者健康手帳の無効について
６月９日	・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び特定化学物質障害予防規則等の一部を改正する省令の施行について ・予防接種による間違い事例について ・雇用管理分野における個人情報のうち健康情報を取り扱うに当たっての留意事項について ・平成29年度税制改正における中小企業等経営強化法に基づく税制措置等について ・厚生労働省「熱中症予防の普及啓発・注意喚起について」 ・特定医療費(指定難病)医療費助成事業の申請におけるマイナンバーの取得について ・がん検診実施機関等の登録に係る申請について ・個人情報保護委員会・厚生労働省「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」に関するＱ＆Ａ(事例集)について
６月13日	・検査料の点数の取扱いについて ・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について ・「使用上の注意」の改訂について
６月14日	・株式会社エスアールエルにおける「白血病遺伝子検査」について
６月19日	・被爆者健康手帳の無効について ・第９回全国医師会事務局連絡会研修会の後援及び職員派遣等について
６月20日	・平成29年度県立学校医等に係る報酬基準額について ・宮崎県肝炎治療費助成事業実施要領の差し替えについて ・産業保健業務基準(平成29年度版)等の送付について ・治療と仕事の両立支援のための「地域両立支援推進チーム」への参加の協力について

送付日	文　書　名
６月20日	・「ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業の実施について」の一部改正について ・梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について ・平成29年度食生活改善普及運動の実施について ・「抗微生物薬適正使用の手引き　第一版」の周知について ・平成29年度介護予防市町村支援事業等について ・「『地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律』の公布について（通知）」の送付について ・平成28年の職場における熱中症による死傷災害の発生状況について ・「がん教育推進のための教材指導参考資料」について
６月21日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その12）」の送付について ・平成28年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて ・平成29年度看護師特定行為研修指導者講習会の開催について
６月22日	・共済組合員証の亡失についてのお知らせ ・平成29年度「愛の血液助け合い運動」の広報資料（ポスター）について
６月23日	・厚生労働省主催「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る研修会」の開催について
６月26日	・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・材料価格基準の一部改正等について ・医療機器の添付文書の記載例について（その４） ・使用薬剤の薬価（薬価基準）等の一部改正等について ・医療用医薬品の添付文書等の記載要領の留意事項について ・医療用医薬品の添付文書等の記載要領について
６月27日	・緊急肝炎ウイルス検査事業実施要領の一部改正について ・平成29年度病床機能報告のための電子レセプトへの病棟情報の記録について ・毎月勤労統計調査（第二種事業所）への調査協力依頼について ・医師国家試験問題の公募についてご協力のお願い ・みやざきオレンジドクターの登録について
６月29日	・アセトアミノフェン等の出荷制限に係る対応について
６月30日	・水防法等の一部改正について ・NBCR対策推進機構第３回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の開催について ・平成30年度以降に行われる特定健康診査等における電子的な標準様式等の仕様について ・小児がん診断ハンドブック（東京都作成）について ・「『在宅医療・介護連携推進事業プラン作成強化セミナー』の参加に関するお願い」の送付について ・クリミア・コンゴ出血熱に係る注意喚起について ・平成29年度（第51回）臨床検査精度管理調査の実施について ・地域医療構想を踏まえた病床の整備に当たり都道府県が留意すべき事項について ・ヒアリに刺された場合の留意事項について ・予防接種後健康状況調査の実施について
７月３日	・平成30年度日本医師会会費賦課徴収について
７月４日	・造血細胞移植患者の長期フォローアップを目的とした「造血細胞移植患者手帳」の送付について ・ヒアリに刺された場合の医療的留意事項について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・平成28年熊本地震に伴う保険診療の特例措置に関する利用状況等の資料提出依頼について ・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置に関する利用状況等の資料提出依頼について



皆さんの持っている携帯電話はガラケーだろうか？それともやはりスマホだろうか？

スマホの画面のブルーライトは，網膜のダメージや眼の疲れ・痛みの原因となり，体内時計を乱すことで睡眠障害を引き起こす可能性がある。また，スマホはインターネット依存症やいじめなどの原因にもなる。アプリで子どもをあやしたり，寝かせつけたりしているお母さんがいる。子どもは自分を見てほしくてお母さんに視線を注いでいるのに，スマホを触っていて子どもの目を見てあげないお母さんがいる。歩きスマホは危険だ。歩きながらでも見たい情報，返信しなければならないメールなど，緊急的なことが多々あるのだろうか？

無料通話やライン，インターネットなど，使い方次第では便利なことが多いスマホだが，子どもへの影響が懸念されている。以前より，小児科学会では，「２歳までテレビ・ビデオを見せないようにしましょう」と言われてきた。子どもの言語発達へのメディアの影響を考慮した提言だ。スマホを見るというのはテレビ・ビデオを見るのと同じだ。一番大事なのは親と子など，人と人との視線を合わせたコミュニケーションや触れ合いだと思う。

子どもの社会性は家庭で形成される部分が大きいと考える。いずれ巣立っていく子どもと一緒にいられる時間を，子どもの目を見て，会話したり遊んだりしながら共有していきたいと思う。（山﨑）

＊　＊　＊　＊　＊

福岡のホテルに一泊したら，翌朝のブッフェに丸刈り筋肉隆々の高校生で溢れていた。Ｔシャツに高校名と「JUDO」とあり，そういえば柔道の大会があったなと目の前の高校生のトレイを見ると，おにぎり４個に山盛りのウインナーとポテト。さらに二つ目のトレイを持って並びに行った。私はサラダと卵１個，ウインナー２本にパン１個。あとはコーヒーと野菜ジュース。中高生のころは，あれぐらい食べてたなと懐かしい気持ちになりました。今は全部肉になるから無理。（岡本）

＊　＊　＊

７月17日の“海の日”に，小学６年生の姪のピアノの発表会を見に行ってきました。会場に行く途中で見た気温が，36度であったのを見たら，クラクラになりそうでしたが，会場は大変涼しく過ごせました。姪は，最初少し緊張していたようですが，堂々と２曲を弾きこなし，あっという間に演奏が終わったような気がします。リハーサルでは，ちょっと間違えたそうですが，本番は，ノーミスだったようです。日頃一生懸命練習した成果をこのような機会に発表できる場があるというのは，大変よい経験になるだろうし，“我が愛しの姪”の成長ぶりを見るよい機会となりました。（上山）

＊　＊　＊

５年生の病院実習がちょうど折り返し地点となりました。毎日常に同じ班員と病院実習を行っているため，院内で他の５年生の人と会うとちょっと嬉しく感じるようになってきました。病院実習と並行して初期研修先の病院探しや国試対策の勉強も行っていますが，実習との両立は中々大変です。この夏も数院ほど病院見学に行く予定です。それでも，コツコツと少しずつでも良いので，継続して積み重ねていけたらと思います。１年後のこの時期に慌てないように…。（柴野）

＊　＊　＊

中学～高校の同級生が教授になりました。いわゆる品行方正，成績優秀というタイプではなく，ボーイズトークが得意な思春期心旺盛な仲間（笑）でした。タイプ的には自分らに近かった彼が，並み居る秀才を押しのけて教授になったことはわが事のようにうれしく，同時にいまだに名も実もない青二才の自分が恥ずかしく感じられました。しかし人生はまだ半分です。彼に負けないように精進しようと決心した今日この頃です。（稲倉）

＊　＊　＊

医学生は臨床実習に臨む条件として，ＣＢＴ（Computer Based Testing）という医学的知識に関する試験と，ＯＳＣＥ（Objective Structured Clinical Examination）という医療面接・身体診察などの手技を評価する実技試験の２つをクリアする必要があります。宮崎大学では今年度から臨床実習が４年生の10月に始まるため，８月末と９月初めの２日間で試験が行われます。９月半ばからは通常の学校のテストもあり，膨大な量の勉強内容と差し迫る試験日に戦々恐々とする日々です。また一方で，８月11～13日に全国医学生ゼミナールという全国の医療系学生が集まり講演会や討論を通して学びあうイベントが宮崎大学で開催され，実行委員を務めています。どちらも後悔しないよう，毎日を目一杯使って過ごしていきたいです。（泉）

＊　＊　＊

３年前に医家芸術展の担当理事になったのを機に，私も写真を出展するようになりました。常連の先生が言われるのには，「作品は自分の子どもと一緒で，どんなに出来が悪くても自分のものが一番かわいい」とのことです。まったくその通りで，拙い作品であっても書斎に飾ると結構癒されます。審査はありませんので，皆さんも次回から出展されてはいかがでしょうか。写真，書道，絵画の３部門があります。（佐々木）

＊　＊　＊

今月のトピックス

「はまゆう随筆」　その２

今年は本当に沢山の投稿をしていただきました。ありがとうございます。当初は７，８月号と２回に分けての掲載予定でしたが，予想を上回る数を投稿していただきましたので，今年は９月号も含め３回にわけて掲載させていただきます。「運玉vs在らぬダイヤ」…表題を頭に置きつつじっくり読んで下さい。　６ページ

寄　稿　あはき療養費も受領委任（代理請求）可能に？
同意書作成の知識と理解の重要性

現在，柔道整復療養費は受領委任制度で運営されていますが，あん摩マッサージ指圧，はり，きゅう療養費も2018年度中の同制度導入へむけて進んでいるようです。

同制度の問題点と今後の課題について尾田朋樹先生に詳しく説明していただきました。　14ページ

宮崎グルメ探訪　福鮨

日州医事を多くの方々に楽しく読んでいただくため，新しいコーナーを作りました。宮崎グルメ探訪！第１回目は稲倉琢也先生に「福鮨」を紹介していただきました。今後もこのコーナーを続けていきますので，ここはおいしい，雰囲気がいい，素敵な大将がいる等，皆様のおすすめの店，行きつけの店がございましたらご紹介ください。お店に制限はありませんので沢山の投稿をお待ちしております。　16ページ

日　州　医　事　第816号（平成29年８月号）（毎月１回10日発行）
発行人　公益社団法人　宮　崎　県　医　師　会　　会長　河野　雅行
〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101番地　TEL 0985-22-5118㈹・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/　E-mail:office@miyazaki.med.or.jp
編　集　宮崎県医師会広報委員会
委　員　長　沖田　和久・副委員長　西田　隆昭，岡本健太郎
委　　員　中村　　豪，野村　勝政，馬場　萌子，二見　旬祐
山﨑　俊輔，稲倉　琢也，上山　貴子，柴野　雅資，泉　　摩依
担当副会長　富田　雄二・担当理事　荒木　早苗，佐々木　究
事　務　局　学術広報課　立山　幸恵，牧野　　諭
印刷所　有限会社 ケイ・プロデュース●落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定　価　350円（但し，県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）